

令和元年度

鳥取市包括外部監査報告書
及びこれに添えて提出する意見

「麒麟のまち事業及び観光・移住定住等に関する
財務事務の執行について」

鳥取市包括外部監査人

税理士 山 崎 安 造

目 次

第1章	監査の概要	1
第1	監査の種類	1
第2	選定した特定の事件名	1
第3	監査の対象とした理由	1
第4	監査を実施した期間	2
第5	監査の対象部署	2
第6	監査の方法	2
第7	監査の視点	8
第8	監査の日程等	9
第9	包括外部監査の実施者	11
第10	利害関係	11
第2章	監査対象の概要	12
第1	麒麟のまち事業について	12
第2	観光について	17
第3	移住定住等について	24
第3章	監査の結果	27
第1	各事業に係る指摘事項及び意見	27
1	シティセールス推進事業費	27
2	若者定住促進事業費	30
3	麒麟のまち創生推進事業費	32
4	鳥取市知名度アップ大作戦事業費	35
5	日本遺産登録推進事業費	41
6	麒麟獅子舞圏域活性化事業費	44
7	人材誘致・定住促進対策事業費	47
8-1	地域商社運営支援事業費	52
8-2	シティセールス推進事業（地方創生推進交付金活用事業）	54
9	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費	58
10	観光活動事業費	61
11	観光ボランティア活性化事業費	63
12	「恋人の聖地/白兔海岸」推進事業費	65
13	知名度アップイベント推進事業費	67
14	宣伝推進事業費	69
15	国際観光推進事業費	71
16	観光協会等補助金	75

17	しゃんしゃん祭振興会補助金	76
18	コンベンション誘致支援事業費	78
19	ループバス運営支援助成費	79
20	観光イベント開催補助金	81
21	因幡地域周遊バス運行支援助成費	84
22	広域観光開拓・推進事業費	86
23	観光産業育成支援事業費	88
24	「砂像のまち鳥取」推進事業費	90
25	鳥取砂丘新発見伝事業負担金	93
26	砂の美術館管理運営費	96
27	砂丘管理事業費	100
28	鳥取砂丘イリュージョン開催補助金	102
29	山陰海岸ジオパーク事業費	104
第2	指摘事項及び意見の件数	107
第4章	おわりに	108

第1章 監査の概要

第1 監査の種類

地方自治法第252条の37第1項の規定に基づく包括外部監査

第2 選定した特定の事件名

麒麟のまち事業及び観光・移住定住等に関する財務事務の執行について

第3 監査の対象とした理由

地方創生が叫ばれて久しいが、東京一極集中の流れはさらに加速し、地方からの人口流出に歯止めがかからない。鳥取市もその例外ではなく平成16年の市町村合併により20万人超都市となったが、その後は人口減少が続き令和元年の春は19万人弱である。

その中で鳥取市は、令和元年10月1日、明治22年（1889年）の市制施行から130周年を迎えることになった。また、この令和という新時代に100年先を見据えた総合防災拠点として安全性の高い新市庁舎も完成し、未来に向かってさらに発展して行こうとしている。

市民の安心、安全は確保された、と言える一方、急速な人口減少とこれに伴う税収等の減少が想定される中、これからの100年先の財政を見据え、将来にわたる税財源を拡充すること等、税財源の安定的な確保につながる取組みが、今後は重要な課題となる。

さて、令和元年5月20日、麒麟のまち圏域（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、兵庫県新温泉町）によるストーリー「日本海の風が生んだ絶景と秘境～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地『因幡・但馬』～」が“日本遺産”に認定された。この地域に伝播する重要な民俗文化財である麒麟獅子舞にちなみ「麒麟のまち」圏域と銘打ち、麒麟獅子の価値や魅力を県内外に発信することによって、伝承と観光振興などに生かすことになる。また、宝島社『田舎暮らしの本』2019年2月号に“鳥取市で田舎暮らし”が住みたい田舎ベストランキング3部門で1位を受賞した！と掲載されたが、これは、一人ひとりの条件に合わせた住み方を提案したのが功を奏したとも言える。

これらの施策はいわば、鳥取市を人が集う場にし、人口減少に歯止めをかけ、活性化しようというものである。たとえば、麒麟獅子等の魅力を生かした観光や経済の「交流人口」を拡大し、さらに移住者らの「定住人口」を強化し、そして都市部に住みながら特に鳥取市と継続的に関わりを持つ「関係人口」を拡大すること等によって、街がにぎやかになり、新たな税財源の確保につながることになる。

このように、将来にわたる税財源の拡充を大きく期待される施策の中で、特に麒麟のまち事業、観光及び移住定住等に関する事業について、その費用対効果等に係る問題点等について検討することは、鳥取市の財政健全化のために有効であると考え、特定の事件として選定した。

第4 監査を実施した期間

令和元年7月1日から同年12月31日まで

第5 監査の対象部署

企画推進部政策企画課並びにその他麒麟のまち事業及び観光・移住定住等に関わるすべての所管課等を監査対象とした。

第6 監査の方法

監査の予備調査の段階で鳥取市の決算推移、第6次鳥取市行財政改革大綱等について、所管する総務部行財政改革課等から、次のような説明を受けた。

鳥取市は、平成16年の市町村合併により20万人都市となったが、今では19万人を下回っている。このような急速な人口減少とこれに伴う税収等の減少が想定される中、普通交付税の合併算定替えの段階的縮減という事情もあり、身の丈に合った歳出規模を堅持する必要があるが、大綱の柱の一つである将来にわたる税財源を拡充することはさらに重要である。

拡充に沿った施策といえば、転入超過都市への転換、いわゆる進学や就職で一度は本市を離れた若者等が戻って来て担い手としてその活躍を期待し、また移住者を増やす取組みもある。さらに交流人口の拡大、つまり山陰海岸ジオパークのエリアや日本遺産に認定された麒麟のまち圏域のストーリーによる観光資源の磨き上げと広域観光の推進で、日本人観光客のさらなる掘り起しはもとより、急増する外国人観光客の誘客を図り、観光交流人口等を拡大する等がある。

そこで、鳥取市の「平成30年度当初予算（案）事業別概要（一般会計・特別会計）」に掲載された、麒麟のまち事業、観光及び移住定住等に関する事業の中から将来にわたる税財源の拡充が大きく期待できると思われる下記の29件の事業を監査対象とすることにした。

具体的に実施した主な監査手続は、以下のとおりである。

- 1 包括外部監査テーマの通知後、直ちに所管課等に下記の「包括外部監査に係る資料の提出について」、「（別紙）平成30年度当初予算（案）事業別概要（一

般会計・特別会計)」及び「個別調査票」を送付し、その作成と提出を求めた。

「包括外部監査に係る資料の提出について」

令和 元年 7 月 2 日

鳥取市企画推進部政策企画課 様
鳥取市企画推進部秘書課広報室 様
鳥取市企画推進部文化交流課 様
鳥取市市民生活部地域振興課 様
鳥取市経済観光部経済・雇用戦略課 様
鳥取市経済観光部観光・ジオパーク推進課 様

鳥取市包括外部監査人 山 崎 安 造

包括外部監査に係る資料の提出について

地方自治法第 25 2 条の 27 第 2 項に規定する包括外部監査契約に基づく監査について、
下記により資料を作成し、提出していただきますようお願いします。

記

1 調査対象

麒麟のまち事業及び観光・移住定住等の事業費等

平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日）

ただし、必要に応じ平成 29 年度以後の各年度も対象とする。

2 作成方法

「平成 30 年度当初予算(案)事業別概要(一般会計・特別会計)」(別紙)に記載の事業
の番号・項目名に基づいて各担当部・課により「個別調査票」に必要事項を記載してく
ださい。なお関係書類については聴き取りによって提出をお願いする場合があります。

3 提出方法

「個別調査票」を各 5 部、書面により提出するとともに、以下のメールアドレス宛てに
データで提出してください。

鳥取市監査委員事務局 安本 yasumoto.satomi@city.tottori.lg.jp

4 提出期限

令和元年 7 月 24 日(水)

※ なお、資料提出等についてのお尋ねは、「5 提出先・連絡先」の担当までお願い
します。

5 提出先・連絡先

鳥取市監査委員事務局(担当)安本 (電話)0857-20-3382(内線7512)

「(別紙) 平成 30 年度当初予算 (案) 事業別概要 (一般会計・特別会計)」

(別紙)

平成 30 年度当初予算(案)事業別概要(一般会計・特別会計)

番号	担当部・課	項目名	ページ	
1	企画推進部 政策企画課	シティセールス推進事業(地方創生推進交付金活用事業)	29 上段	
2	〃	若者定住促進事業	30 下段	
3	〃	麒麟のまち創生推進事業	31 下段	
4	秘書課広報室	鳥取市知名度アップ大作戦事業費	34 上段	
5	文化交流課	日本遺産登録推進事業費	37 下段	
6	〃	麒麟獅子舞圏域活性化事業費	38 上段	
7	市民生活部 地域振興課	人材誘致・定住促進対策事業費	39 上段	
8	経済観光部 経済・雇用戦略課	地域商社運営支援事業費	128 下段	
9	〃	【政策提案】起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費	133 下段	
10	観光・ジオパーク推進課	観光活動事業費	140 下段	
11	〃	観光ボランティア活性化事業費	141 下段	
12	〃	「恋人の聖地/白兔海岸」推進事業費	142 上段	
13	〃	知名度アップイベント推進事業費	143 下段	
14	〃	宣伝推進事業	144 上段	
15	〃	国際観光推進事業費	144 下段	
16	〃	観光協会等補助金	145 上段	
17	〃	しゃんしゃん祭振興会補助金	145 下段	
18	〃	コンベンション誘致支援事業費	146 上段	
19	〃	ループバス運営支援助成費	146 下段	
20	〃	観光イベント開催補助金	147 上段	
21	〃	因幡地域周遊バス運行支援助成金	147 下段	
22	〃	広域観光開拓・推進事業費	148 下段	DMO
23	〃	観光産業育成支援事業費	149 上段	
24	〃	「砂像のまち」推進事業費	149 下段	
25	〃	鳥取砂丘新発見伝事業負担金	150 上段	
26	〃	砂の美術館管理運営費	150 下段	
27	〃	砂丘管理事業費	151 上段	
28	〃	鳥取砂丘イリュージョン開催補助金	152 上段	
29	〃	山陰海岸ジオパーク事業費	152 上段	

「個別調査票」

個別調査票

【令和元年 月 日作成】

部 課

番号	項目名
----	-----

事業内容	
事業目的	
事業費の内訳	
当初予算額	
決算額	
事業の実績	
事業の効果	
今後の見通し	

※ 聴き取りによって関係資料の提出をお願いする場合があります。

- 2 上記1により提出を受けた30事業の個別調査票ごとに、各所管課に対し聴き取りをし、関係資料の提出を求め、監査を実施した。

- 3 その後、事業によっては、各所管課の担当者の同行による関係施設等の視察を行い、現地において確認と説明を受けた。

第7 監査の視点

1 地方自治法第252条の37によれば、包括外部監査人は、包括外部監査対象団体の財務に関する事務の執行及び包括外部監査対象団体の経営に係る事業の管理のうち、同法第2条第14項及び第15項の規定の趣旨を達成するため必要と認める特定の事件について監査するものとされる。

つまり、我々が行う監査は、住民福祉の増進を目的として、経済性、効率性、有効性を追求し、地方公共団体がその事業等の在り方を新たな視点から見直し、地方行財政改革を促す監査であることを期待され、行うものである。

2 私たち3人は、税理士である。税理士は、税に関する唯一の国家資格であり、仕事柄日常において納税者たる市民の声を受け止める立場にある。税理士法第1条によれば、その使命は申告納税制度の理念に沿って適正な納税を進めることにあるが、その理念を推進させるには市民の行政への信頼が不可欠であり、税の無駄遣いは市民の納税意欲を減退させることになると思う。納税意欲と行財政改革は表裏一体であり、そういう意味で市民は、税の使われ方に大変注目している。したがって、私たちは、このたび包括外部監査を行うに当たって、その期待を背負って納税者たる市民の目線で監査することを心がけた。

3 具体的には次の着眼点で監査した。

- (1) 補助対象は適切か、公益上の必要はあるか。
- (2) 補助金交付要綱の不明確な記載・適用誤りはあるか。
- (3) 補助金及び負担金の算定は適切か。
- (4) 補助事業の実績報告は適切か。
- (5) 補助交付団体への指導、監督は適切か。
- (6) 委託契約の契約内容は適正か。
- (7) 委託金額の精査は適正に行われているか。
- (8) 委託先からの実績報告及び市における完了検査手続は適正か。
- (9) 費用対効果の検証は行われているか。

第8 監査の日程等

下記日程により、監査委員事務局を通じて政策企画課などの各所管課等に対し資料を請求し、関係書類の説明を受け、聴き取り及び現地確認等による監査を行った。その後各部署と質疑のやりとりを行い、監査報告書を作成するに至った。

監査対象部署等	実施日
包括外部監査契約の押印	4月1日(月)
監査委員事務局 予備調査等今後の打ち合わせ	4月3日(水)
総務部 行財政改革課 予備調査①(市の決算推移、第6次行財政改革大綱、市政の概要、事業別概要、定期監査報告書、市の行政組織)	4月25日(木)
市監査委員と面談	4月25日(木)
企画推進部 政策企画課 予備調査②(若者定住に関する事業について)	6月18日(火)
農林水産部 林務水産課 予備調査②(林業、水産の担い手に関する事業について)	6月18日(火)
企画推進部 文化交流課 予備調査②(交流事業について)	6月20日(木)
農林水産部 農政企画課 予備調査②(農業の担い手に関する事業について)	6月20日(木)
経済観光部 経済・雇用戦略課 予備調査②(経済観光部の事業について)	6月21日(金)
市民生活部 地域振興課 予備調査②(移住定住に関する事業について)	6月21日(金)
経済観光部 観光・ジオパーク推進課 予備調査②(経済観光部の事業について)	6月21日(金)
経済観光部 企業立地・支援課 予備調査②(経済観光部の事業について)	6月21日(金)
監査委員へ包括外部監査の事件名「麒麟のまち事業及び観光・移住定住等に関する財務事務の執行について」を通知	7月1日(月)
平成30年度当初予算(案)事業別概要(一般会計・特別会計)のなかから監査対象事業29件を決定	7月1日(月)
企画推進部政策企画課ほか各担当部・課 監査に係る資料「平成30年度当初予算(案)事業別概要(一般会計・特別会計)(別紙)に記載の事業29件に係る個別調査票」の提出を依頼	7月2日(火)

企画推進部政策企画課 No.1・2・3事業 聴き取り、質疑応答	7月31日(水)
経済観光部経済・雇用戦略課 No.8事業 聴き取り、質疑応答	7月31日(水)
経済観光部企業・立地支援課 No.9事業 聴き取り、質疑応答	7月31日(水)
聴き取りにより依頼した関係資料の監査 10回程度 監査委員室	8月2日(金)～ 10月1日(火)
市民生活部地域振興課 No.7事業 聴き取り、質疑応答	8月8日(木)
企画推進部文化交流課 No.5・6事業 聴き取り、質疑応答	8月8日(木)
経済観光部経済・雇用戦略課 No.8事業 聴き取り、質疑応答	8月8日(木)
経済観光部 観光・ジオパーク推進課 No.19・21・22・24～28 事業 聴き取り、質疑応答	8月19日(月)
経済観光部 観光・ジオパーク推進課 No.10～18・20・23・29 事業 聴き取り、質疑応答	8月21日(水)
企画推進部秘書課広報室 No.4事業 聴き取り、質疑応答	8月27日(火)
鳥取市制施行130周年・新本庁舎完成 記念式典	10月1日(火)
移住・交流情報ガーデン 聴き取り及び現地確認	10月15日(火)
観光コンベンション協会 聴き取り及び現地確認	10月15日(火)
国際観光客サポートセンター 聴き取り及び現地確認	10月15日(火)
麒麟のまち観光局 聴き取り及び現地確認	10月15日(火)
砂の美術館 現地確認	10月18日(金)
鹿野お試し住宅・気高お試し住宅 聴き取り及び現地確認	10月18日(金)
新本庁舎外部監査人室 見学	11月6日(水)
監査報告書の原案の提出	12月24日(火)
企画推進部政策企画課ほか各担当部・課等 原案に係る協議	1月15日(水)
経済観光部経済・雇用戦略課ほか各担当部・課等 原案に係る協 議	1月20日(月)
包括外部監査報告書(全体版)の提出	1月21日(火)
包括外部監査報告書(概要版)の提出	1月21日(火)
市監査委員へ報告	2月4日(火)
市長へ報告	2月4日(火)
市議長へ報告	2月4日(火)

上記のほかに、外部監査人の事務所等で主に監査事件名の選定、監査対象案件の選定、監査収集資料の範囲、監査の視点、監査実施方法及び監査報告書作成等のための検討会議を28回程度実施した。

第9 包括外部監査の実施者

外部監査人	税理士	山崎	安造
外部監査人補助者	税理士	政田	孝
外部監査人補助者	税理士	公認会計士	池原 浩一

第10 利害関係

包括外部監査の対象とした事件につき、外部監査人及び補助者は地方自治法第252条の29に規定する利害関係はない。

第2章 監査対象の概要

第1 麒麟のまち事業について

鳥取県東部（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）と兵庫県北但西部（香美町、新温泉町）7市町の各地に伝わる麒麟獅子舞や雄大な景観などを紹介するストーリー（物語）「日本海の風が生んだ絶景と秘境～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地『因幡・但馬』～」が、文化庁の日本遺産に認定された。今後、この地域に伝播する重要な民俗文化財である麒麟獅子舞にちなみ「麒麟のまち」圏域と銘打ち、広域連携の取組みを展開し、麒麟獅子舞の価値や魅力を県内外に発信することによって、伝承と観光振興などに生かすことになる。

1 麒麟のまち圏域の主な取組み

① 観光振興推進

地域連携 DMO「麒麟のまち観光局」を設置し、圏域の連携による広域的な着地型観光や観光誘客を進める。併せて、圏域の魅力アップ事業を実施し、広域観光の連携を推進する。

② 移住定住促進

圏域で連携して県外での移住相談会等を実施し、積極的な情報発信を行うとともに、移住者の受け皿となる環境を整備する。

③ 麒麟のまち関西情報発信拠点の運営

麒麟のまち圏域をPRする情報発信拠点を大阪中之島にオープンした。また、地域商社とっとりによる圏域特産品の販路開拓・拡大を図る。

④ 麒麟獅子舞の日本遺産認定

圏域に受け継がれる麒麟獅子舞の魅力を発信し、圏域の活性化につなげる。（令和元年5月、麒麟獅子舞を生かしたストーリーが日本遺産に認定。）

2 祝 日本遺産認定！

鳥取市報 2019年7月号によれば、その内容は次のとおりである。

- ① 令和元年5月20日、麒麟のまち圏域（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、兵庫県新温泉町）によるストーリー「日本海の風が生んだ絶景と秘境～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地『因幡・但馬』～」が日本遺産に認定された。

ちなみに、日本遺産とは、文化庁が平成27年に創設した制度で、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化、伝統を語るストーリーを認定するものである。また、ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形のさまざまな文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、

国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としている。

② 認定ストーリー

日本海から吹きつける季節風が創り上げた日本最大級の鳥取砂丘。目に見えぬ風の姿がさざ波模様の風紋に映し出され、海岸を進むと風が起こす荒波に削り出された奇岩が連なる。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると、風がもたらす豪雪に育まれた杉林を背に豪邸が佇む。さらに源流へと分け入ると岩窟の中に古堂が姿を現す。これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。

人々は、厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に、古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。

③ 構成文化財

麒麟のまち圏域の日本遺産ストーリーは、次の31の文化財などから構成されている。

認定されたストーリーは、日本海から吹きつける「風」をテーマに、風が育む砂・波・雪が生んだ絶景や秘境と厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に舞われる麒麟獅子舞を結び付け、一つの物語に仕立てている。



祝！日本遺産認定！麒麟獅子舞（市報2019年7月号）

祝 日本遺産認定！

Japan Heritage

日本海の風が生んだ絶景と秘境 ～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地『因幡・但馬』～

令和元年5月20日、麒麟のまち圏域（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、兵庫県新温泉町）によるストーリー「日本海の風が生んだ絶景と秘境～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地『因幡・但馬』～」が日本遺産に認定されました。

☎ 本庁舎文化交流課 ☎ 0857-20-3226 ☎ 0857-20-3040



認定ストーリー

日本海から吹きつける季節風が創り上げた日本最大級の鳥取砂丘。目に見えぬ風の姿がざざ波模様の風紋に映し出され、海岸を進むと風が起す荒波に削り出された奇岩が連なる。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると、風がもたらす豪雪に育まれた杉林を背に豪邸が佇む。さらに源流へと分け入ると岩窟の中に古堂が姿を現す。

これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。

人々は、厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に、古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。



日本遺産って何？

日本遺産は、文化庁が平成27年に創設した制度で、地域の歴史的魅惑や特色を通じて、我が国の文化、伝統を語るストーリーを認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形のさまざまな文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地（市報2019年7月号）



「構成文化財」は、麒麟のまち圏域の日本遺産ストーリーは、次の31の文化財などから構成されています。

認定されたストーリーは、日本海から吹きつける「風」をテーマに、風が育む砂・波・雪が生んだ絶景や秘境と厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に舞われる麒麟獅子舞を結びつけ、一つの物語に仕立てています。

構成文化財

ストーリーを構成する31の文化財



1. 鳥取砂丘



2. 桂見遺跡出土縄文時代遺物一括



3. 白克神社樹叢



4. 青谷上寺地遺跡



5. 新温泉町浜坂味原川地区



6. 浦富海岸



7. 但馬御火浦



8. 香住海岸



9. 因幡・但馬沿岸の岩石海岸の漁村集落



10. 余部鉄橋



11. 百手の儀式



12. 氷ノ山後山那岐山国定公園



13. 智頭の林業景観



14. 智頭町板井原伝統的建造物群保存地区



15. 杉神社



16. 石谷家住宅



17. 矢部家住宅



18. 太田家住宅主屋、新建、門長屋



19. 三百田氏住宅



20. 若桜鉄道若桜駅本屋及びプラットフォーム、転車台ほか計23件



21. カリヤ通り



22. 木島家住宅主屋



23. 蔵通り



24. 不動院岩屋堂



25. 鳥取城跡附太閤ヶ平



26. 仁風閣



27. 鳥取東照宮



28. 宇信神社



29. 聖神社本殿、拝殿及び幣殿



30. 因幡の麒麟獅子舞



31. 但馬の麒麟獅子舞

ストーリーを構成する31の文化財（市報2019年7月号）

第2 観光について

予備調査の段階で所管する経済観光部観光・ジオパーク推進課から、鳥取市の観光施策について、次のような説明を受けた。

第10次鳥取市総合計画（H28～H37）における観光戦略（一部抜粋）

1 観光施策の主な内容

① 山陰海岸ジオパークを生かした取組みの推進

ユネスコ世界ジオパーク認定の山陰海岸ジオパークの世界的な価値を国内外に発信するとともに、山陰海岸ジオパーク推進協議会等を通じ、官民が一体となって、鳥取砂丘や白兔海岸、西地域等のジオパークエリアの自然保護・保全への取組みや教育、観光、地域産業の各分野での積極的な活用を図る。

② 砂の美術館の充実

鳥取市の観光拠点として確立した世界初の「鳥取砂丘砂の美術館」に、世界最高レベルの砂像を制作・展示することにより、多くの観光客を誘致し、交流人口の拡大を図る。

③ 鳥取砂丘の保護・保全及び活用

- ・ 官民協働による砂丘一斉清掃やボランティア除草等を進め、美しい鳥取砂丘の景観を保全する。
- ・ 鳥取砂丘における観光産業等の民間投資の誘発を図り、着地型・滞在型観光の核づくりを進める。
- ・ 鳥取砂丘未来会議など官民連携による取組みを継続し、鳥取砂丘の保護・活用を進める。



鳥取砂丘



鳥取砂丘砂の美術館

④ 地域の観光資源の磨き上げ

- ・ 「鳥取しゃんしゃん祭」を官民で連携し、日本を代表する祭りに育てる。
- ・ 各地域で開催されるイベントや特色ある観光拠点を生かした誘客を進

める。

- ・ 史跡、文化財、自然等の観光素材の磨き上げと市内の観光地や体験施設、イベント等をつなぐテーマ性をもった観光ルートの開発を進める。
- ・ 鳥取、吉岡、鹿野、浜村の各温泉地の特性を生かした観光地づくりを促進する。
- ・ 鳥取市観光大学等を中心に、「おもてなしの心」をもって観光客と接する人材の育成に取り組む。
- ・ 鳥取駅や鳥取砂丘コナン空港をはじめとする主要な交通拠点と観光地をつなぐバス路線など二次交通の整備を、バス事業者をはじめとする関係機関と連携し推進する。

⑤ 魅力ある観光拠点の再整備

- ・ 鳥取砂丘ビジターセンターの整備をはじめ、^{たねがいけ}多鯰ヶ池、砂丘西側エリアの再整備など鳥取砂丘全体の魅力づくりを進める。
- ・ 山陰自動車道（鳥取西道路）の開通に伴う吉岡温泉インターチェンジの設置を契機とし、吉岡温泉や湖山池、白兔周辺の周遊促進を図る。
- ・ 鳥取自動車道や山陰自動車道（鳥取西道路）など、高速道路利用者の利便性向上のため、既存道の駅2施設と今年度完成した道の駅「西いなば気楽里」の拠点化を進め、特産品開発・販売や観光周遊を強化し、地域に雇用を生み出す施設としてさらなる振興を図る。
- ・ 観光振興や地域の活性化等を見据え、地域や関係者とともにも今後の観光施設のより良い在り方を検討する。

⑥ 観光関連産業の育成

- ・ 観光産業の確立に向け、意欲ある観光産業事業者を積極的に育成・支援する。
- ・ 鳥取市の観光推進役となる鳥取市観光コンベンション協会など観光関連団体と連携した取組みを行うとともに、観光関連団体の活動に対し必要な支援を行う。
- ・ 観光地づくりの核となる地域連携 DMO「麒麟のまち観光局」との連携により着地型観光や観光誘客を進める。

⑦ 広域観光連携の推進

- ・ 麒麟のまち観光局をはじめ鳥取因幡・兵庫北但西部1市6町と連携し、広域観光の取組みを進める。
- ・ 「姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会（HOT トライアングル）」における観光連携の取組みを推進する。
- ・ 山陰海岸ジオパークを核とする観光資源の広域的な活用による但馬・丹後圏との観光連携を推進する。

- ・ とっとりコンベンションビューローと連携し、コンベンション誘致に向けた取組みを強化する。

⑧ 国際観光の推進

- ・ 東アジアを中心としたプロモーション活動を展開するとともに、鳥取市国際観光客サポートセンターによる外国人観光客の支援体制を強化する。
- ・ 鳥取空港利用促進懇話会や麒麟のまち観光局と連携し、鳥取砂丘コナン空港の国際チャーター便の就航促進や観光商品の開発など、官民が一体となった取組みを進める。
- ・ 多言語表記による案内標識の設置や外国語版観光サイトの充実など、受入体制の整備を図る。
- ・ 鳥取県に発着している航空便や貨客船の活用はもとより、関西圏や山陽圏の港湾、空港と連携した観光ルートの開発を検討する。



鳥取しやんしやん祭

評価指標

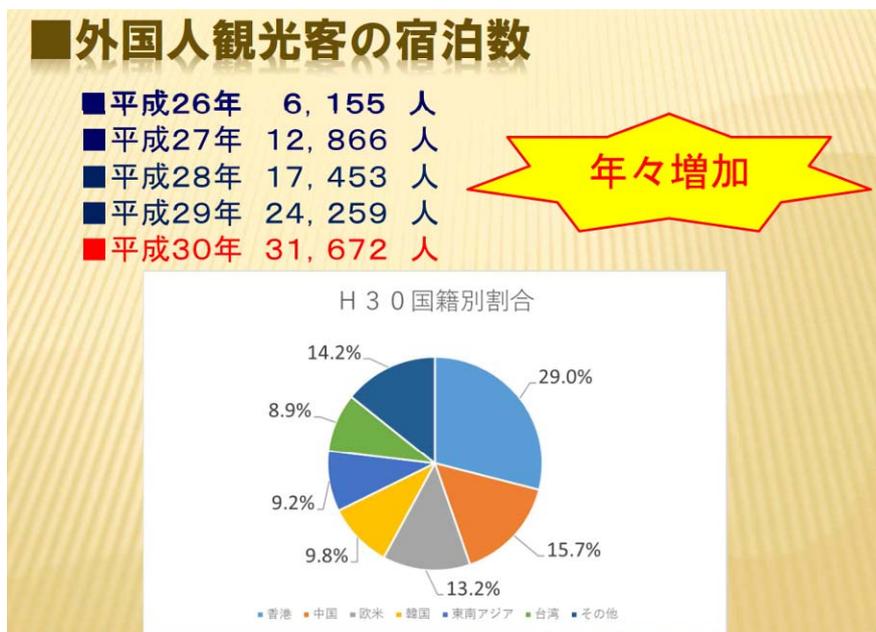
指標名	現状	目標	指標の説明
観光入込客数（年間）	289 万人 （H26 年）	320 万人 （R 2 年）	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の観光入込客数。
国際観光客サポートセンター案内件数（年間）	5,221 人 （H26 年）	1 万 6 千人 （R 2 年）	鳥取駅に設置する「鳥取市国際観光客サポートセンター」での外国人案内件数。

2 観光入込客数の推移



少子高齢化や、スマホなどから気軽に旅行情報も入手できる時代となり、旅行も団体ツアーから友達や恋人など少人数で行動する個人旅行が主流となっている。それに伴い国内の旅行需要は頭打ちになっており、国をあげてインバウンド需要の取り込みに力を入れている。鳥取市の入込客数でいうと、平成26年4月からの貸し切りバス運賃改正によるバスツアー料金の値上げ、平成28年10月に発生した鳥取中部地震、平成29年2月の大雪、平成30年7月の西日本豪雨をはじめとする多くの台風発生など自然災害の影響等により、国内旅行者を中心に観光客が減少している。

3 外国人観光客の宿泊数



一方、外国人観光客（インバウンド）の宿泊者数で見ると年々増加傾向にある。国籍別では、香港・台湾・韓国・中国など、東アジアの市場が上位となっている。

4 国際観光（インバウンド）の推進

■国際観光（インバウンド）の推進

○海外プロモーション

- ★台湾市場
 - ・現地旅行会社とプロモーション契約
 - ・旅行雑誌掲載、AGTへの商品造成依頼
 - ・ブロガー、メディアFAMツアー
 - ・SNSを活用した情報発信
 - ・旅行博への出展
 - ・観光セミナーの実施
 - ・ラッピングバスの運行
- ★香港市場
 - ・旅行雑誌掲載
 - ・ブロガー、メディアFAMツアー
 - ・SNSを活用した情報発信
- ★韓国市場
 - ・HPを中心とした広報



鳥取市では平成27年度からインバウンド誘致に力を入れて取り組んでおり、特に親日でリピーター率の高い、台湾・香港を重点ターゲットとし、現地の旅行会社とプロモーション契約を結び、現地の旅行雑誌へ観光情報の掲載や、Facebook やツイッターなどの SNS による現地での情報発信、現地の旅行博覧会への出展、観光バスに鳥取市のラッピングをするなど、全て現地において積極的にプロモーションを行い、誘客につなげている。

■国際観光（インバウンド）の推進

○受入環境の整備

- ・国際観光客サポートセンターの管理運営
- ・外国人観光客周遊タクシー（3時間 2,000円/人）
- ・外国人観光客 大阪—鳥取1000円バス
- ・ループ麒麟獅子バスの音声多言語化（英・中・韓）
- ・多言語音声翻訳機の普及促進
- ・外国人観光客おもてなし講座
- ・多言語ボランティアガイド育成
- ・多言語パンフレット作成 など



急増する外国人観光客に対応するため、プロモーションと併せて受入環境の整備も進めている。駅前風紋広場の前に外国人観光客専用の案内所「国際観光客サポートセンター」を設置し、英語・中国語・韓国語に対応できるスタッフ5名を配置し観光案内を実施しているほか、外国人専用周遊タクシー(2,000円/人・3時間)の運行、なんばOCATから鳥取まで片道3,700円かかるバス運賃を外国人専用1,000円という格安で利用できるサービスを提供するなど、受入環境の整備にも力を入れている。

5 広域観光連携の推進

■広域観光連携の推進

○地域連携DMO「麒麟のまち観光局」

※DMO (Destination Marketing/Management Organization)



麒麟のまち圏域

鳥取県: 湯梨浜町, 鳥取市, 三朝町, 岩美町, 新温泉町, 八頭町, 若桜町, 智頭町

兵庫県: 豊岡市, 香美町, 養父市, 朝来市

岡山県: 赤松市

「地域連携DMO」= 観光地域づくり法人

鳥取東部1市4町(鳥取市・岩美町・智頭町・若桜町・八頭町)と兵庫北但西部2町(新温泉町・香美町)の観光・商工・農業・交通・金融・自治体などで構成する地域連携DMOの設立。

※H30.4.1～事業開始

★訪日外国人・若年層が重点ターゲット

- 圏域全体のブランディング
- 観光資源のブラッシュアップ
- 魅力ある観光資源をネットワーク化した周遊ルートの造成
- 回遊性の高い交通網の検討
- おもてなし文化の醸成



麒麟のまち

Kirinomachi

近年の旅行形態は大きく変化している。スマホなどから気軽に旅行情報も入手できる時代となり、旅行も団体ツアーから友達や恋人など少人数で行動する個人旅行が主流となっている。それに伴い旅行者が求めるニーズも高まり、行動範囲も広がっている。さらに長期滞在の傾向が強い訪日外国人は、ひとつの観光地のみでは満足できない傾向がある。

これらに対応し効果的な旅行需要を本市周辺に取り込んでいくためには、行政の枠組みを超えた広域的な観光連携が必要。その広域的な連携を進めるため、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」が昨年1月に設立された。DMOとは destination marketing・マーケティング、もしくは management・オーガナイゼーションの略とし、いわゆる広域観光の取組みをけん引する観光地域づくり法人と言われている。

麒麟のまち観光局は、鳥取県東部と兵庫北但西部地域1市6町（通称：麒麟のまち圏域）の観光・商工・農業・交通・金融・自治体など、あらゆる分野と連携を図りながら、圏域全体をひとつのブランドとして捉え、訪日外国人・若年層を重点ターゲットとし、観光資源のブラッシュアップや観光周遊ルートの造成、効果的な情報発信などの取組みを進めている。

6 鳥取砂丘砂の美術館

■鳥取砂丘砂の美術館

世界で唯一、砂像（砂を掘った彫刻作品）の屋内展示を行っている鳥取砂丘砂の美術館。
 海外の有名砂像彫刻家達が生み出したクオリティの高い彫刻は観る者を圧倒します。
毎年45万人の観光客が訪れる観光スポット。

■期 間 2019年4月13日～2020年1月5日
 第12期展示 「南アジア編」

年度	入館者数	テーマ
29年度	405,328人	10期・アメリカ編
30年度	448,802人	11期・北欧編




鳥取市の観光資源の核となる施設で、世界で唯一、砂を掘った彫刻作品の屋内展示を行っている美術館。国外にも広くPRしており、現在では外国人観光客も増加している。平成30年度は、平成29年度と比較し4万人程度増加している。令和元年度の第12期展示「南アジア編」の入館者数は500,309人となり、6期ぶりに50万人を超えた。

第3 移住定住等について

宝島社『田舎暮らしの本』2019年2月号に、“鳥取市で田舎暮らし”が、住みたい田舎ベストランキング3部門で1位を受賞した！と掲載された。

鳥取市報 2019年3月号によれば、その内容は次のとおりである。

1 鳥取市で田舎暮らし

宝島社『田舎暮らしの本』2019年2月号(平成31年1月4日発売)で、「2019年版 住みたい田舎ベストランキング」が発表され、鳥取市が大きなまち(人口10万人以上)グループで「総合部門」・「若者世代が住みたい田舎部門」・「自然の恵み部門」の3部門で1位を受賞した。このたびの評価は大変光栄であり、今後も移住定住とシティセールスに力を入れていく。

2 住みたい田舎ランキングとは

宝島社が発行する月刊誌「田舎暮らしの本」で、毎年、全国の市町村からのアンケート結果を数値化し、ランキング形式で、「住みたい田舎」を発表しているものである。

今回は、移住支援策、自然の豊かさ、医療、子育て、就労支援、移住者数などを含む220項目のアンケートを実施し、663市町村(うち「大きなまち」は96市町村)から回答あり。

人口10万人未満の「小さなまち」と、人口10万人以上の「大きなまち」にグループ分けし、全世代対象の【総合】のほか、【若者世代】【子育て世代】【シニア世代】【自然の恵み(新設)】の5部門に分けてランキングが発表された。

3 鳥取市のランキング状況

大きなまち(人口10万人以上)グループ

- | | |
|-----------------|-----|
| ・総合部門 | 第1位 |
| ・若者世代が住みたい田舎部門 | 第1位 |
| ・子育て世代が住みたい田舎部門 | 第2位 |
| ・シニア世代が住みたい田舎部門 | 第6位 |
| ・自然の恵み部門(新設) | 第1位 |

総合部門では、2年ぶり2度目の1位を受賞した。鳥取市が複数の部門で1位を受賞したのは初めてである。

4 鳥取市が評価されたポイント

- (1) 自分に合った暮らしが見つかる街！

鳥取市は、日本海と中国山地に囲まれた場所にあり、四季が明確で豊かな自然環境に恵まれているため、新鮮な食材が安くで手に入る。また、中心部には図書館や総合病院、ショッピングモール、企業など都市機能が備わっており、利便性の高い地域となっているため、多様なライフスタイルに合わせた海暮らし・里山暮らし・街暮らしを楽しむことができる。

(2) 移住前から移住後までの一貫した相談・サポート体制！

鳥取市では、市役所内・東京・大阪の3カ所に移住相談窓口を設置し、5人の専任相談員が、きめ細やかで継続した移住相談対応を行っている。

また、平成28年1月には鳥取駅前に「鳥取市移住・交流情報ガーデン」を設置し、3人の移住定住コンシェルジュが、移住後の相談対応や移住された人の交流イベントを開催するなど、安心な鳥取暮らしに向けて支援している。

(3) 若者や子育て世帯の受け入れ体制を拡充！

平成30年度、県外から移住して民間賃貸住宅に入居された若者夫婦と子育て世帯に対する家賃補助や、Uターンを希望される方が鳥取市に帰省して就職活動を行われる際の交通費補助制度を新設した。

5 鳥取市のこれまでの総合部門でのランキング状況

第1～6回鳥取市総合部門ランキング		
2013年版	(第1回)	第2位
2014年版	(第2回)	第8位
2015年版	(第3回)	第2位
2016年版	(第4回)	第9位
2017年版	(第5回)	第1位
2018年版	(第6回)	第4位

宝島社『田舎暮らしの本』『住みたい田舎ベストランキング』出典
(2018年版 第6回のみ「大きなまち(人口10万人以上)」での
ランキング)



2019年版 第7回

「住みたい田舎」 ベストランキング

人口10万人以上 大きな町

3部門 第1位

鳥取市



宝島社『田舎暮らしの本』
2019年2月号



自然の恵み
部門

7年連続総合部門
TOP10入り



総合
部門



若者世代が
住みたい田舎
部門

移住前の相談から移住後のサポートまで、
幅広い世代を支援する体制を整備



最も旬な「田舎暮らしの適地」を探る「住みたい田舎」ベストランキング。7回目となる2019年版で、鳥取市が「総合部門」「若者世代が住みたい部門」「自然の恵み部門」の3部門で第1位に輝きました！
移住定住の推進に積極的な市町村を対象に、移住支援策、自然の豊かさ、医療、子育て、就労支援、移住者数など220項目のアンケート調査を実施。参加した全国663市町村（うち、「大きなまち」は96市町村）のなかで、3部門で見事1位となった鳥取市の魅力あふれる取り組みと移住者レポートをご紹介します。



「住みたい田舎」ベストランキング 3部門 第1位

第3章 監査の結果

第1 各事業に係る指摘事項及び意見

以下、1 から 29 の各事業の「個別調査票」に記載された項目名、事業内容、事業目的、事業費の内訳、当初予算額、決算額、事業の実績、事業の効果、今後の見通しなどを掲載するとともに、各事業に係る【指摘事項】及び【意見】を記述する。

【指摘事項】とは、一連の事務手続等の中で、法令、条例、規則等に違反している場合、或いは違法ではないが社会通念上適当でないと考えられる場合に該当する事項を記載している。

【意見】とは、一連の事務手続等の中で、組織及び運営の面で合理化に役立つものとして専門的見地から改善を提言する事項を記載している。

1 シティセールス推進事業費

所管課	企画推進部 政策企画課
事業内容	<p>本市が進めるまちづくりの各施策と連動した魅力的な鳥取市ブランドのイメージを確立させるための鳥取市シティセールス戦略を策定。</p> <p>この戦略のもと職員個々の資質を高めるとともに、市内外に本市の魅力を発信・浸透させる事業を実施。</p> <p>● <u>SQのあるまち推進事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>シティセールス戦略会議の開催</u> シティセールスの推進に係る施策の調査検討、協議を行う。 ・ <u>SQのあるまちリーダー職員研修</u> ブランドスローガンの理解・共有、品質の高いサービスの提供や施策の展開のために職員研修を実施。 ・ <u>インターネット放送番組（YouTube）の配信</u> 市民が主役の番組を制作・配信し、本市の魅力発信と市民愛着度の向上を図る。 ・ <u>SQのあるまち推進事業補助金</u> 鳥取市の魅力度、都市イメージを高める事業を認定し、事業にかかる費用を助成する。 <p>○麒麟のまち関西情報発信拠点事業【地方創生推進交</p>

	<p>付金活用事業】</p> <p>※H30.6月～経済・雇用戦略課へ所管替え</p>
事業目的	鳥取市シティセールス戦略に沿った事業を展開し、人や企業から選ばれるまち鳥取市を目指す。
事業費の内訳	<p>報償費 264 千円 (研修講師謝金、シティセールス戦略会議委員報酬)</p> <p>旅費 376 千円 (シティセールス戦略会議委員旅費等)</p> <p>需用費 96 千円 (インターネット放送番組チラシ印刷代等)</p> <p>役務費 84 千円 (タブレット端末電話料金)</p> <p>委託料 3,197 千円 (インターネット放送番組制作業務等)</p> <p>使用料及び賃借料 29 千円 (iMac 賃貸借料)</p> <p>補助金 1,996 千円 (S Q のあるまち推進事業補助金)</p> <p>合計 6,043 千円</p>
当初予算額	<p>45,893 千円</p> <p>※上記のうち麒麟のまち関西情報発信拠点管理運営業務等 44,893 千円は 6 月～経済・雇用戦略課へ移管、また 6 月補正により委託料・補助金等 5,381 千円を追加 (45,893 千円 - 44,893 千円 + 5,381 千円 = 6,381 千円)</p> <p>◆最終予算額 6,381 千円</p>
決算額	6,043 千円
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>シティセールス戦略会議開催</u> H30.6/27、新規事業等について協議 ・ <u>S Q のあるまちリーダー職員研修</u> H30.7/25、新任課長補佐級対象の職員研修を実施、19 名参加。 ・ <u>インターネット放送番組 (YouTube) の配信</u> 「今夜くらいトットリの話聞いてくれないか」全 6 回 H30.10.31～H31.3.27 月 1 回、月末水曜日 19:00～ライブ配信 委託先：FM 鳥取 事業費：2,797 千円 (他 番組 PR 動画広告費：400 千円) ・ <u>S Q のあるまち推進事業補助金 (4 件)</u> ○鹿野町での 2 泊 3 日の移住体験プログラムの実施 ○鳥取民藝に関わる方の座談会番組を作成し、ラジオ、インターネット放送での配信

	<p>○YouTuber と地域住民との交流を通じて、地域の魅力をテーマにした動画を配信</p> <p>○鳥取市の魅力をテーマに親子で写真撮影・意見交換を行い、写真の展示会を開催</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ S Qのあるまちリーダー職員研修：職員の意識改革 ・ インターネット放送番組（YouTube）の配信：平均視聴回数 7,106 回 ・ S Qのあるまち推進事業補助金：上記 4 件の取組みによる魅力発信・交流人口拡大
今後の見通し	<p>職員が S Qの意味を理解・共有する取組みを引き続き進めるとともに、職員の資質向上を図る。</p> <p>また、市民が主体となり本市の魅力を発信する取組み（S Qのあるまち推進事業補助金）への支援を令和元年度も継続して実施し、インターネット放送番組では、本市のみならず麒麟のまち圏域の各町の魅力も発信していく。</p>

毎月最終水曜日 19:00~は

今夜くらい トットリのお話を聞いてくれないか

のライブ配信の日!!

MC
ワタシカフウヘイ 氏 (司会)

サブMC
酒井 文栄 氏 (アシスタント)

コメンテーター
岩崎 達也 氏 (鳥取大学客員)

ゲスト
鳥取市で活躍する様々な分野の方をお招きします!!

毎回、鳥取市に関する様々なことをテーマに、市民ゲストを迎え、MC、コメンテータートークを繰り広げます。また、鳥取大学放送部も加わり、鳥取市のことを自ら取材し、番組内で発表します！
この番組は、鳥取市のシティセールスの取組の一環として、市民が主役のインターネット放送番組制作・発信することで、市民による情報発信のプラットフォームをつくり、本市の魅力発信及び市民愛着度の向上を図ることを目的として放送するものです。

ライブ配信日 毎月最終水曜 19:00~20:00

平成30年
10月31日 / 11月28日 / 12月26日

平成31年
1月30日 / 2月27日 / 3月27日

鳥取県民会館 YouTube

お問い合わせ 鳥取市政策企画課 電話10857120-3151 kikaku@city.tottori.lg.jp

インターネット放送番組（YouTube）のチラシ

(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

2 若者定住促進事業費

所管課	企画推進部 政策企画課
事業内容	<p>婚活事業推進のための「すごい！鳥取市」婚活サポートセンターを設置し、結婚による若者定住の促進を図る。</p> <p>【婚活サポートセンター業務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員登録者の情報管理、婚活に関する情報発信 ・婚活イベントの開催 ・婚活コーディネーターによる会員サポート <p>その他、関係団体等との連携や、婚活イベントへのアドバイス等</p>
事業目的	<p>若者を対象とした「婚活」事業を推進するため、婚活サポートセンターを設置し、婚活イベントを企画・実施するほか、関係団体等との連携を図りながら、サポート体制を整備することで、結婚による若者定住を促進する。</p>
事業費の内訳	委託料 10,200 千円(婚活サポートセンター運営委託費)
当初予算額	10,200 千円
決算額	10,200 千円
事業の実績	<p>○「すごい！鳥取市」婚活サポートセンター運営実績</p> <p>H30 年度 イベント実施回数 48 回</p> <p>登録者数 1,628 人</p> <p>カップル成立数 103 組</p> <p>成婚数累計 15 組 (H26.11 月～、H30 年度 4 組)</p> <p>委託費：10,200 千円</p> <p>委託先：株式会社 エムアンドエムドットコー</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・上記実績 参照 ・H31.3.1～対象者のエリアを麒麟のまち圏域(岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町)に拡大し、運営。
今後の見通し	<p>婚活イベントによるカップルは成立するものの成婚数が少ないため、成婚報告を促す取組みや、圏域拡大後の各町との連携による魅力あるイベント実施などの取組みに力を入れ、圏域の活性化につながる取組みとしていく。</p>

「すごい！鳥取市」婚活サポートセンターのチラシ

(1) 婚活サポートセンター設置の費用対効果について【意見】

「すごい！鳥取市」婚活サポートセンターの運営実績として、運営委託費 10,200 千円に対して、平成 30 年度の成婚数は 4 組であった。

鳥取市創生総合戦略（平成 27～31 年度）では、「結婚・出産・子育て支援」の中で、新たな出会いの創出と結婚支援として、「すごい！鳥取市」婚活サポートセンターやまちづくり団体による出会い創出から結婚に至るトータルサポートの実施を掲げ、平成 31 年度末までの成婚数を 60 組としているが、「すごい！鳥取市」婚活サポートセンターを平成 26 年 11 月に開設してからの平成 30 年度末までの成婚数は 15 組となっている。

当事業は、費用に見合った成果が現れているとは言えない状態が続いているが、事業内容の抜本的な見直しが行われていない。このような状況から費用対効果は低く、また経済性にも欠ける事業であったことがうかがえる。今後は、結婚による若者定住を促進するという目的につながるよう、これまでの事業内容を十分検証し、効果的な事業となるような仕組み・体制を再構築する必要がある。

また、成婚実績をより増やすため、成婚報告を促す取組みを行い、効果の検証が正確に行えるようにする必要がある。

3 麒麟のまち創生推進事業費

所管課	企画推進部 政策企画課
事業内容	麒麟のまち圏域（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町）による、地方創生推進交付金等を活用した広域連携の取組みの進捗管理を行う また鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県新温泉町の1市5町で連携中枢都市圏を形成し、連携ビジョンに基づき進める連携事業の進捗管理を行う。
事業目的	生活圏・経済圏を一体とする鳥取県東部・兵庫県北但西部の1市6町の圏域を活性化するため、観光振興・移住促進等に関係市町で広域的に取り組む。
事業費の内訳	委員報酬 81千円（ビジョン懇談会委員3千円×27人） 旅費 430千円（連携中枢都市圏連絡会議等参加旅費） 需用費 176千円（連携中枢都市圏パンフレット印刷代等） 役務費 10千円（資料送付切手代等） 使用料及び賃借料 67千円（麒麟のまち創生戦略会議サミット会場使用料） 合計 767千円
当初予算額	1,228千円
決算額	767千円
事業の実績	○連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結：H30.4.1 ○連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催：H30.11.6、H31.3.26 ○麒麟のまち創生戦略会議の開催：H30.5.31（サミット）、H30.11.19、H31.2.12
事業の効果	○連携中枢都市圏ビジョンに位置付けた90事業において、事業の広域化による新たな取組みを進めることができた。 ・公立図書館の相互利用 ・病児・病後児保育事業の広域化 ・婚活サポートセンターの広域化 ・麒麟獅子舞を生かしたストーリーの日本遺産認定
今後の見通し	連携中枢都市圏ビジョンに位置付けた90事業の着実な

推進を図るとともに、香美町を含めた連携、日本遺産の認定に伴う麒麟獅子舞を生かした圏域の活性化について取組みを進める。



鳥取砂丘と麒麟獅子

◆ 具体的な取組の一覧 ◆

連携する圏域(自治体)	鳥取県	香美町	八咫町	新美町	鳥取市	倉吉市	八雲町	八幡町	新美町	新美町
1 ビジネスサポート体制構築事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 観光-観光客支援事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 圏域内の事業者に向けたセミナー開催事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 地域福祉活動事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 観光事業所運営事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 公的機関との連携促進事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7 食料生産振興事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8 林業支援事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9 福祉-福祉活動事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10 農業関係団体支援事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11 特産品販売促進支援事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
12 農産物産出支援事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
13 地域おこし協力隊導入事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14 農業法人支援事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
15 農業関係団体支援事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16 農産物加工振興事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17 農産物加工施設整備事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18 インターネットショップ推進事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
21 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
22 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
23 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
24 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
25 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
26 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
27 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
28 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
29 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
31 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
32 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
33 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
34 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
35 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
37 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
38 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
39 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
41 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
42 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
43 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
44 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
45 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
46 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
47 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
48 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
49 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
50 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
51 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
52 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
53 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
54 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
55 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
56 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
57 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
58 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
59 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
60 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
61 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
62 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
63 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
64 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
65 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
66 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
67 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
68 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
69 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
70 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
71 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
72 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
73 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
74 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
75 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
76 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
77 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
78 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
79 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
80 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
81 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
82 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
83 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
84 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
85 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
86 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
87 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
88 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
89 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90 観光客向け観光情報提供事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

因幡・但馬麒麟のまち 連携中枢都市圏

連携中枢都市圏とは…

連携中枢都市圏とは、地域において、生活圏や経済圏を一体とする自治体がそれぞれの資源や特徴を生かしつつ、連携・協力し、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことにより、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するために形成された圏域です。

発行 / 平成30年4月 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏

鳥取市企画課 TEL 0857-20-3153

岩美町企画課 TEL 0857-73-1412

若桜町企画課 TEL 0858-82-2231

香美町企画課 TEL 0858-75-4112

八咫町企画課 TEL 0858-76-0212

新美町企画課 TEL 0796-82-6624

連携中枢都市圏のパンフレット



連携中枢都市圏ビジョン懇談会



麒麟のまち創生戦略会議

(1) 連携中枢都市圏へ加入推進について【意見】

麒麟のまち創生推進事業とは、鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町及び兵庫県香美町、新温泉町の1市6町（通称：麒麟のまち圏域）において、地方創生推進交付金等を活用し、広域連携による観光振興・移住促進等の施策を実施し、圏域の活性化を図る事業である。また、鳥取県東部4町に兵庫県新温泉町を加えた1市5町で連携中枢都市圏を形成し、連携中枢都市圏ビジョンに位置付けた90事業に取組み、圏域の持続的発展を図っている。

連携中枢都市圏ビジョンに位置付けた90事業の着実な推進を図る上では、麒麟のまち圏域に含まれている兵庫県香美町も含めたより広域的な連携を行うことが、圏域全体の経済成長や生活関連機能サービスの向上につながるものと思われる。そのため、連携中枢都市圏に兵庫県香美町も加わるように働きかけを行い、圏域の活性化に取組みことが望まれる。

4 鳥取市知名度アップ大作戦事業費

所管課	企画推進部 秘書課 広報室
事業内容	平成26年度から取り組んでいるイメージ戦略「すごい！鳥取市」というキャッチコピーを基に、「麒麟のまち」圏域が“魅力ある住みやすいまち”である認識を全国に浸透させるための情報発信を積極的に展開する。
事業目的	これまで取り組んできた「すごい！鳥取市」キャンペーンを、「麒麟のまち」圏域まで広げ、圏域で連携した職・暮らし体験のプログラムなどを実施することにより、圏域全体のイメージ強化や来訪者の誘引を図る。
事業費の内訳	旅費 60千円 東京PRイベント 需用費 681千円 イベントPRグッズ代、ポスター印刷代 役務費 10,016千円 新聞・テレビ等広告料 委託料 10,800千円 すごい！鳥取市ワーホリ！事業関係委託 使用料及び賃借料 43千円 新春対談会場借上料、撮影用バス借上料、ETCスルーカード利用料等
当初予算額	22,045千円
決算額	21,599千円
事業の実績	主に首都圏をターゲットに「すごい！鳥取市ワーホリ！麒麟のまち拡大版」キャンペーンを主体とする各種PRを行った。 ①ワーホリ体験ツアーの素材発掘のためのワークショップの開催とメッセージ風告知ポスターの制作。 ②告知ポスターを活用した都内吉祥寺駅でのポスタージャックによるPRの実施。 ③体験ツアーの実施を通じた地元協力者と参加者の交流拡大とそれに伴う情報発信。 ④「すごい！鳥取市ワーホリ！」キャンペーンや住みたい田舎ランキング総合部門第1位といった素材を元にWEBメディアやテレビ、新聞情報誌などの各種媒体を活用した情報発信。 ⑤「すごい！鳥取市」、「俺の鳥取ブラザー、私の鳥取シスター」などの特設サイトを活用した情報発信
事業の効果	<委託関連>

	<p>●東京・吉祥寺駅での告知ポスター掲示はメディアの反響も大きく、本市の知名度アップに大きく貢献した。</p> <p>広告換算：218,626千円以上</p> <p>WEB：251媒体</p> <p>TV：7媒体（フジテレビ2部、TBS、山陰ローカル3局、NHK中国ブロック）</p> <p>新聞：7社</p> <p>体験ツアー参加者：13組16名（申込総数：39組57名）</p> <p>参加者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の体験でブラザー&シスターを含め多くの方と縁ができたので、この縁をこれかもずっと大事にしていきたい。また鳥取の魅力に魅せられたことで、次はいつ行こうか&いつ移住しようか今から本気で悩んでいる。だから、この体験は鳥取を訪れる・移住を考えるきっかけづくりとして最適だと思った。 ・特別なものは何もないけれど、鳥取市の方々の優しさに触れ、こののんびりとした気分になれるから、鳥取は人を惹きつけるのだと実感した。 ・他者との関わりが密で、コミュニティを強く感じる事ができた。 ・新鮮な食材・大自然・人の温かさに触れ、心が癒やされた。プログラムを終え自宅に戻ったころには、「次はいつ鳥取に行こうかな・・・」と、さっそく“鳥取ロス”になっていた。 ・「すごい！鳥取市ワーホリ！」を通じて家族や友人に勧めたいところは『人』。実際に、ワーホリから帰ってきて私が家族に話した一言目は「人が温かかったよ！」だった。 ・祖父母の家も東京にあり、子どもの頃から「帰省」「ふるさと」に憧れていた。今回のワーホリでは普通の旅行では味わえない、地域との交流ができたので、土地への愛着がわき、自分のふるさとなかたがたができたような感覚になった。 ・とにかくたくさんの人に会えたことが良かったポイント。地元鳥取市に帰って来られた方、鳥取が好きで
--	---

移住した方、それぞれに理由はあれど、鳥取に対する愛が伝わってきたことが本当に印象的だった。

・たくさんの方々に会い、実際に話しを聞けることがすごく楽しかった。

・地元の方でないと行けないような素敵なお店や町並み、情緒にとっても癒やされた3日間だった。まさに遠い親戚が住んでいる、懐かしい場所になりつつ、また再訪したいと思っている。

・家族や友人に勧めたいところは、非常に魅力が多く枚挙に暇がないが、あえて挙げると、人の温かさだと思う。もちろん今回お会いした方々だけのイメージとなるが、どなたもフレンドリーで、活動する熱い思いを持っていらっしゃる方だった。

※写真、体験記は下記サイトから確認できますのでご覧ください。

<https://www.city.tottori.lg.jp/brosis/>

< 役務関連 >

【WEBメディア掲載】

●旅モニアンバサダー/体験モニターSNS掲載記事広告

・旅モニアンバサダーより旅モニサイトへ2回投稿

1回目：7枚投稿（680 いいね獲得）

2回目：5枚投稿（651 いいね獲得）

・旅モニ体験モニター（1組2名枠）

最終応募人数：150名（75組）

・多数のフォロワーを有する旅モニアンバサダーがワーホリ体験を行い、自身のSNS及び旅モニサイトへ体験記を記事広告として掲載。体験モニターには定員を大幅に上回る申し込みがあり、鳥取市の魅力をPRする高い宣伝効果を得られた。

●PLAYLIFEでの企画記事広告

・モデルコース記事1本

・モデルコース記事を用いたプロモーション

25,947PV（目標10,000PV）、達成率259%

	<p>Facebook シェア数 530 件（一般目安 10 件程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・340 万人が利用する、全国の楽しみ方がモデルコース形式で集まる WEB メディア「PLAYLIFE」にて、住みたい田舎 1 位の鳥取市を実際に観光切り口で回り、モデルコース記事にして発信。移住予定者向けのサービスなども織り交ぜたモデルコース記事に基づくプロモーションを実施。20～30 代をメインターゲットに全国に向けて情報発信を行い、交流人口～関係人口の拡大を図ることを目的として広く鳥取市の魅力を紹介・拡散する効果が得られた。 <p>【TV 関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「すごい！鳥取市ワーホリ！麒麟のまち拡大版」メディア広告業務 <ul style="list-style-type: none"> ・東京メトロポリタンテレビ明日ドコ！？DX 3 本放送 <ul style="list-style-type: none"> 1/13（日）（再放送 1/22、24、26） 1/20（日）（再放送 1/29、31、2/2） 1/27（日）（再放送 2/5、7、9） ・30 分番組「トレジャーニッポン 外国人が知っている日本のお宝」というコーナーで、外国人タレントが「住みたい田舎 1 位」鳥取市の暮らしを実際に体験し、地域の人と交流する様子を 3 週にわたり紹介。首都圏に暮らす人をターゲットに鳥取市の魅力を発信した。 ●テレビ番組「ゴゴスマ」を活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・TBS 系列「ゴゴスマ」 <ul style="list-style-type: none"> 3/14（木）15：26 頃～5 分間の生放送 ・首都圏、中京圏を中心に幅広い放送エリアを有する午後の情報番組「ゴゴスマ」を活用し、外国人が訪れるべき観光地 1 位、及び住みたい田舎 1 位獲得を切り口に、選ばれるまち「鳥取市」の魅力を広く情報発信することが狙い。 ・シーズンを迎えた砂丘でのアクティビティ（ファットバイク、パラグライダー、砂丘ヨガ）の魅力を、事前取材した映像等を活用して伝えるとともに、鳥取市
--	---

	<p>が観光だけでなく「住みたい田舎」としても注目を集めている事実をアピール。実際に関東から鳥取市に移住した出演者にもその魅力を語っていただき、広域の視聴者に鳥取市への興味関心を喚起し、高いPR効果が期待できた。</p>
<p>今後の見通し</p>	<p>本事業は「S Qのあるまち—鳥取市シティセールス戦略—」における短期的戦略を担うプロモーションとして、位置づけている。今後さらに取組みを発展させ、「全国への本市の認知度及びイメージの向上」と「地元に対する愛着の醸成」につながっていく事業展開が必要と考えている。</p> <p>なお、ワーホリ事業自体はこれまでのノウハウを踏襲した形で「麒麟のまち移住促進イベント企画運營業務」（地域振興課所管）の中で引き続き運営されていくこととなっている。</p>



すごい！鳥取市



東京・吉祥寺駅での告知ポスター掲示

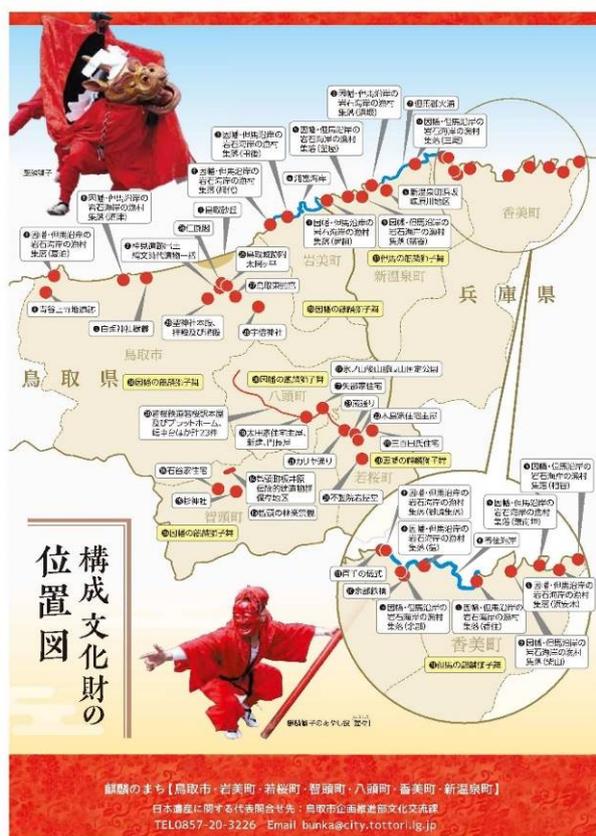
(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

5 日本遺産登録推進事業費

所管課	企画推進部 文化交流課
事業内容	平成 30 年度の日本遺産認定結果の発表（不採択）に併せ、文化庁より「麒麟獅子舞を体験・体感できる工夫が必要」との改善事項が示された。 これを踏まえ、翌年度の認定に向け、圏域を訪れる人々が麒麟獅子を体験・体感できる取組みの充実・強化を図った。
事業目的	日本遺産は地域に点在する有形・無形の文化財群を面としてパッケージ化し、日本の伝統を語る「ストーリー」を文化庁が認定するものである。 麒麟のまち圏域の 1 市 6 町では、圏域に受け継がれる麒麟獅子舞を生かした日本遺産の認定により、地域の活性化を図ることを目的としている。
事業費の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ①文化庁との日本遺産ストーリー協議等 旅費 549 千円 ②イオン鳥取北店等での麒麟獅子舞披露 報償費 90 千円 ③麒麟獅子展示用ポスターの増刷等 需用費 129 千円 <li style="padding-left: 20px;">麒麟獅子リーフレットの制作 委託料 486 千円 ④因幡万葉歴史館の常設 PR 展示環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・麒麟獅子舞映像使用 使用料 54 千円 ・麒麟獅子舞の^{せんが}剪画の購入 備品購入費 393 千円 ・展示環境の整備 委託料 277 千円
当初予算額	1,826 千円
決算額	1,978 千円
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ①文化庁との日本遺産ストーリー協議等 ②麒麟獅子舞のイベント PR <ul style="list-style-type: none"> ・イオン鳥取北店イベント ・鳥取市観光大学の現地学習における麒麟獅子舞披露 ③麒麟獅子展示用ポスターの増刷等 麒麟獅子リーフレットの制作 ④因幡万葉歴史館内の展示環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・麒麟獅子舞の映像調達 ・麒麟獅子舞の剪画購入 ・展示環境の整備（スポットライト、展示棚の整備）
事業の効果	日本遺産の認定により、圏域住民の関心が高まり、文

	<p>化財等の保護・保存と次世代への継承が進むとともに、新たな観光客層の掘り起こしや観光商品の開発・販売により、収益性が高まることで、圏域の活性化につながることを期待される。</p>
<p>今後の見通し</p>	<p>昨年5月、麒麟のまち圏域のストーリーが令和元年度の日本遺産に認定。認定後は、DMOを中心に推進組織を設立し、文化庁の補助金を活用しながら、麒麟獅子舞を生かした日本遺産ストーリーの情報発信、人材育成、普及啓発、公開活用のための整備に関する各種事業に取り組む。</p>



構成文化財の位置図

麒麟のまち【鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町・香美町・新温泉町】
 日本遺産に関する代表問合せ先：鳥取市企画推進部文化及芸術
 TEL0857-20-3226 Email bunka@city.tottori.jp

祝日本遺産認定!!

日本海の風が生んだ絶景と秘境
 幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」

「認定ストーリー」
 日本海から吹きつける季節風が前リ上げた日本最大級の鳥取砂丘。日に興えぬ風の姿がきき波濤様の風紋に映じ出され、海岸を進むと風が積もる荒波に崩れ出された岩岩が滑る。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると、風がもたらす豪雪に育まれ大杉林を再び豪雨が打ち、さらに遠慮へと分け入ると若葉の中に古傘が姿を現す。これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。人々は、厳しい風の季節前に麒麟獅子舞を舞い続け、感謝を胸に、古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子舞を舞い続け、無類に出会う旅人にも幸せを分け与えている。



日本遺産認定のチラシ



因幡万葉歴史館内の展示

(1) 麒麟獅子舞をPRする施策の募集について【意見】

平成30年度は、麒麟獅子が舞われる時期、場所などを一堂に紹介するリーフレットの作成、麒麟獅子舞をモチーフとする剪画やパネル、レプリカ等の展示、麒麟獅子舞及び日本遺産認定に向けた取組みを幅広く周知するためのPRイベントの開催などの事業を実施し、令和元年5月20日付で、麒麟のまち圏域のストーリーが日本遺産に認定された。

今後は、麒麟のまち圏域の1市6町に点在する文化財等を生かしたストーリーによるパッケージ化、一体的な整備・活用、国内外への戦略的な情報発信・普及啓発などの取組みを行い、地域の活性化を図っていく必要がある。この唯一無二の麒麟獅子を国内外に幅広く周知するために情報発信し、麒麟のまち圏域内に最大限の経済効果を生むよう地域住民及び民間事業者からも広く利活用策、例えば、旧市役所本庁舎跡地に麒麟のまち圏域のできる限り多くの麒麟獅子舞を市民や観光客が通年で見ることのできる施設を整備する、また、198体の麒麟獅子ブロンズ像を街なかに建てる等の施策を募集することが望ましい。

6 麒麟獅子舞圏域活性化事業費

所管課	企画推進部 文化交流課
事業内容	<p>① 麒麟獅子舞巡回展の開催（麒麟のまち連携中枢都市圏連携事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真パネル、レプリカ等民芸品、剪画等の展示 ・子ども向け麒麟獅子のぬり絵コーナーの開設など <p>② 「麒麟展」実行員会が実施する「麒麟 EXHIBITIONS」への補助</p>
事業目的	麒麟獅子舞が貴重な文化観光資源となることを再認識し、その魅力を圏域内外に広く情報発信・普及啓発する取組みを積極的に展開することで、麒麟獅子舞の保存・継承による地域の活性化を図る。
事業費の内訳	<p>① 巡回展開催費 1,139 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回展ポスター、チラシ制作 需用費 501 千円 1/5 サイズ麒麟獅子レプリカの購入等 備品購入費等 316 千円 ・子ども向けノベルティグッズ（麒麟獅子をデザインした色鉛筆、パズル DE 定規）作成 需用費 229 千円 ・子ども向け麒麟獅子ぬり絵データ制作 委託料 43 千円 ・その他巡回展消耗品費 需用費 50 千円 <p>② 「麒麟 EXHIBITIONS」補助金 200 千円</p>
当初予算額	1,956 千円
決算額	1,339 千円
事業の実績	<p>① 麒麟獅子舞巡回展の開催日・場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【岩美町】平成 31 年 1 月 22 日～31 日/岩美町役場 ・【智頭町】平成 31 年 2 月 2 日～11 日/智頭町総合センター ・【若桜町】平成 31 年 2 月 13 日～24 日/若桜郷土文化の里たくみの館 ・【鳥取市】平成 31 年 2 月 26 日～3 月 7 日/鳥取市文化センター ・【八頭町】平成 31 年 3 月 9 日～17 日/八頭町中央公民館 ・【新温泉町】平成 31 年 3 月 20 日～31 日/浜坂先人記念館以命亭 <p>写真パネル、剪画、レプリカなど民芸品の展示、塗り絵体験 など</p> <p>② 「麒麟 EXHIBITIONS」開催結果</p> <p>開催日時：平成 30 年 7 月 22 日～8 月 26 日</p> <p>開催場所：鳥取県立博物館第二特別展示室</p> <p>入場者数：3,680 人</p> <p>実施主体：「麒麟展」実行委員会 会長 植木誠</p>

<p>事業の効果</p>	<p>創意工夫を凝らした巡回展を開催したことで、麒麟獅子の魅力幅広く圏域に普及啓発することができた。</p> <p>また「麒麟 EXHIBITIONS」の開催を支援することで、麒麟獅子への関心が高まり、圏域の機運の醸成につながった。</p>
<p>今後の見通し</p>	<p>昨年5月、麒麟のまち圏域のストーリーが令和元年度の日本遺産に認定。認定後は、DMOを中心に推進組織を設立し、文化庁の補助金を活用しながら、麒麟獅子舞を生かした日本遺産ストーリーの情報発信、人材育成、普及啓発、公開活用のための整備に関する各種事業に取り組む。</p> <p>また、麒麟のまち連携中枢都市圏連携事業としても、麒麟獅子舞を生かした地域の活性化につながる取組みを引き続き行う。</p>

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏連携事業

霊獣・麒麟獅子展巡回展

れいじゅう まりんじし



古くから因幡・但馬地方に伝わる麒麟獅子舞の魅力を紹介するために、写真パネルや麒麟獅子のレプリカ、羽織などを展示し紹介する巡回展を開催します。
 かつぎの麒麟獅子の魅力がいろいろの展示会になつていきます。この機会にぜひ、お楽しみください。

麒麟獅子の「ぬりえ」体験
 ●対象：未就学児～児童
 ぬりえの楽しさや、麒麟獅子の魅力を伝えるために、ぬりえのワークショップを開催します。
 ●日時：9月13日(土)～14日(日)の2日間
 ●会場：八頭町中央公民館

入場無料

巡回会場（日時）
 ●岩美町 岩美町立図書館
 10月13日(土)～14日(日)の2日間
 ●西宮市 西宮市立図書館
 10月20日(土)～21日(日)の2日間
 ●八頭町 中央公民館
 10月27日(土)～28日(日)の2日間
 ●八頭町 中央公民館
 11月3日(土)～4日(日)の2日間
 ●西宮市 西宮市立図書館
 11月10日(土)～11日(日)の2日間
 ●八頭町 中央公民館
 11月17日(土)～18日(日)の2日間
 ●八頭町 中央公民館
 11月24日(土)～25日(日)の2日間

主催：因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏連携事業
 (鳥取市・若美町・若桜町・智頭町・八頭町・兵庫県新温泉町)
 お問い合わせ先：鳥取市西所企画推進課 文化交流課 鳥取市尚徳町116(本庁舎4階)
 ☎0857-20-3226 ☎0857-20-3040 <http://www.city.tottori.lg.jp>

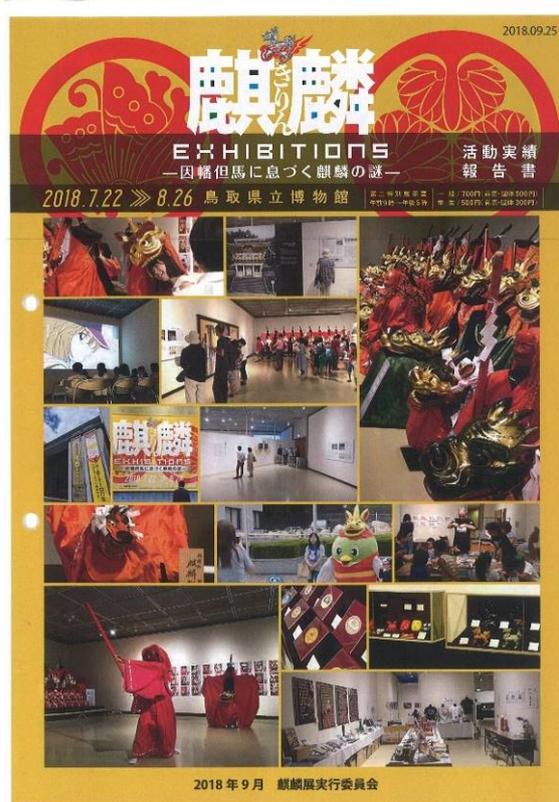
2018.09.25

麒麟 EXHIBITIONS

—因幡但馬に息づく麒麟の謎—

活動実績報告書

2018.7.22 ≫ 8.26 鳥取県立博物館



2018年9月 麒麟展実行委員会

麒麟獅子舞巡回展

「麒麟 EXHIBITIONS」

(1) 麒麟獅子舞の後継者育成について【意見】

麒麟獅子舞圏域活性化事業では、1市5町で麒麟獅子舞の紹介パネルや麒麟獅子のレプリカ、剪画等を展示する巡回展を開催している。

麒麟のまち圏域に受け継がれる麒麟獅子舞の魅力をさらに情報発信、普及啓発し、圏域の活性化につなげるとともに、麒麟獅子舞の保存団体等との連携を図り、麒麟獅子舞の次世代への保存・継承を図ることも必要と思われる。

今後は、麒麟獅子舞の保存・継承のための予算を組み、後継者の育成を行うことが望まれる。

7 人材誘致・定住促進対策事業費

所管課	市民生活部 地域振興課																											
事業内容	(1) 移住定住相談員の配置による相談対応及び情報発信 (2) ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡会事業 (3) 移住・交流情報ガーデン設置事業 (4) 首都圏・関西圏移住定住相談員設置事業 (5) お試し定住体験事業 (6) 移住定住空き家運營業務 (7) 連携中枢都市圏での移住の取組み (8) 移住支援に関する補助金等																											
事業目的	専任相談員の配置や専用窓口の設置により、就業・生活・住宅等の情報提供や相談対応を行い、また、官民連携や広域連携などの手法も取り入れながら総合的かつ戦略的に移住定住促進施策に取り組むことで、移住希望者が「鳥取市」を“選ばれるまち、住みたいまち”として最終的に選択し、移住（U I Jターン）していただくことを目的とする。																											
事業費の内訳	<p>(当初予算ベース／単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>内 訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 移住定住相談員の配置</td> <td>6,776</td> <td>人件費(報酬、共済費)</td> </tr> <tr> <td>(2) ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡会</td> <td>1,110</td> <td>報償費、旅費、需用費</td> </tr> <tr> <td>(3) 移住・交流情報ガーデン設置</td> <td>13,498</td> <td>委託料</td> </tr> <tr> <td>(4) 首都圏・関西圏移住定住相談員設置</td> <td>6,402</td> <td>人件費(報酬、共済費)、委託料(首都圏分)</td> </tr> <tr> <td>(5) お試し定住体験</td> <td>9,098</td> <td>委託料、施設等使用料、光熱水費、通信費等</td> </tr> <tr> <td>(6) 移住定住空き家運営</td> <td>4,050</td> <td>委託料</td> </tr> <tr> <td>(7) 連携中枢都市圏</td> <td>1,856</td> <td>旅費、負担金、備品購入費等</td> </tr> <tr> <td>(8) その他</td> <td>3,621</td> <td>移住関連補助金、県外相談会関係経費等</td> </tr> </tbody> </table>	事業区分	事業費	内 訳	(1) 移住定住相談員の配置	6,776	人件費(報酬、共済費)	(2) ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡会	1,110	報償費、旅費、需用費	(3) 移住・交流情報ガーデン設置	13,498	委託料	(4) 首都圏・関西圏移住定住相談員設置	6,402	人件費(報酬、共済費)、委託料(首都圏分)	(5) お試し定住体験	9,098	委託料、施設等使用料、光熱水費、通信費等	(6) 移住定住空き家運営	4,050	委託料	(7) 連携中枢都市圏	1,856	旅費、負担金、備品購入費等	(8) その他	3,621	移住関連補助金、県外相談会関係経費等
事業区分	事業費	内 訳																										
(1) 移住定住相談員の配置	6,776	人件費(報酬、共済費)																										
(2) ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡会	1,110	報償費、旅費、需用費																										
(3) 移住・交流情報ガーデン設置	13,498	委託料																										
(4) 首都圏・関西圏移住定住相談員設置	6,402	人件費(報酬、共済費)、委託料(首都圏分)																										
(5) お試し定住体験	9,098	委託料、施設等使用料、光熱水費、通信費等																										
(6) 移住定住空き家運営	4,050	委託料																										
(7) 連携中枢都市圏	1,856	旅費、負担金、備品購入費等																										
(8) その他	3,621	移住関連補助金、県外相談会関係経費等																										
当初予算額	46,411千円 (財源／国・県支出金 5,043、繰入金・諸収入 15,295、一般財源 26,073)																											

決算額	43,434 千円		
事業の実績	①-1 相談員配置の状況		
	窓口区分	設置場所	相談員数
	鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口	本庁地域振興課内	3名
	首都圏移住定住相談窓口	鳥取県東京本部内	1名
	関西圏移住定住相談窓口	鳥取市関西事務所内	1名
	移住・交流情報ガーデン	永楽温泉町内(駅前)	3名
	備考	直営	外部委託
	備考	直営	外部委託
	備考	直営	外部委託
	備考	外部委託	外部委託
①-2 相談・移住の状況（首都圏・関西圏含む）			
実績区分	28年度	29年度	30年度
窓口対応延べ件数	1,204件	1,109件	920件
窓口相談登録世帯数	447世帯	515世帯	389世帯
窓口移住者数	188人／ 119世帯	487人／ 371世帯	464人／ 341世帯
①-3 移住・交流情報ガーデン利用状況（H28.1月開設）			
実績区分	28年度	29年度	30年度
移住相談	161件	67件	107件
来所者数（移住者・市民）	1,898人	1,384人	1,365人
② ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡会事業			
官民連携による「すごい！鳥取市移住相談会」を大阪市内（麒麟のまち）にて開催した。会では、鳥取市のPRを行うとともに、先輩移住者セミナー、移住・就職・住宅・子育て・農業就業等の相談対応を実施した。			
【実績】《第1回》 H30.10.13_Sat_13～16時（来場：12組 16名）			
《第2回》 H31.1.12_Sat_13～16時（来場：5組 5名）			
③ お試し定住体験事業			
本市への移住検討者に対して体験施設（8施設）を提供し、鳥取暮らしをお試しいただく事業である。			

	<p>【実績】54組、延べ528日利用（鹿野／湯川住宅団地施設分除く）</p> <p>④ 移住定住空き家運營業務 地元の団体に移住定住空き家運営管理を委託。多くの空き家情報を収集し、より早く的確な管理が可能となることで移住定住者の増加を図る。 【実績】河原(西郷地区)、用瀬(用瀬地区)、佐治地域、気高(逢坂地区)、鹿野地域、青谷地域へ委託。運営管理実績としては、6団体で「調査件数：129件、空き家登録：10件、契約：2件(移住5人)」であった。</p> <p>⑤ 連携中枢都市圏での移住の取組み 麒麟のまち圏域（1市6町）で、東京(9/9)及び大阪(7/28)で開催されたふるさと回帰フェアに参加し、圏域への移住につながるよう相談業務に取り組んだ。また、麒麟のまちの取組みや圏域の一体感を押し出すため、相談ブース用の装飾品を調達し、各市町の特色も活かしながら相談会に臨んだ。</p> <p>⑥ 移住支援に関する補助金（H30.7月新設） ・鳥取市民間賃貸住宅等家賃支援事業補助金【実績：5世帯13名移住】 ・鳥取市Uターン者就職活動交通費支援事業補助金【実績：4件】</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、人口減少対策（定住強化年齢層：若者世代、子育て世代） ・空き家利活用の推進や中山間地域におけるコミュニティ活性化 ・生活圏を共有する麒麟のまち圏域での好循環による地方創生の推進など
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談窓口の充実、強化（体制の再検討） ・空き家運営管理を委託する地域の拡大の検討（市内の中山間地域） ・移住支援金制度のスタート（東京23区からの移住者へ100万円支給）など



移住定住相談支援パンフレット



移住・交流情報ガーデン



お試し定住体験住宅

(1) 複数回のお試し定住体験の利用について【意見】

お試し定住体験のチラシでは、お試し定住体験は、「同一世帯・家族の利用は、原則1回限り」となっているが、平成30年度の事業実施報告書を閲覧したところ、下記のような体験事例が見受けられた。

- ① 福部地域のお試し住宅を8日間体験後、引き続き西郷地域のお試し住宅を17日間利用している。
- ② 佐治地域のお試し住宅を、5月に7日間、9月に9日間、10月に8日間、3回にわたって利用している。

他の体験希望者の体験機会の確保の観点から、お試し定住体験は、「同一世帯・家族の利用は、原則1回限り」となっているため、複数回の利用は制限する必要がある。

8-1 地域商社運営支援事業費

所管課	経済観光部 経済・雇用戦略課
事業内容	地域の多くの関係者と連携しながら、農産物などの地域資源をブランド化、生産・加工から流通・販売まで一貫したプロデュースを行い地域内外に販売する組織である「地域商社とっとり」の運営費を一部補助する。
事業目的	受発注、決済、物流等の一元化した運営により、有望な地域資源の販路開拓の司令塔となる地域商社の販路拡大（取引企業の獲得）等運営に支援を行うことで、農業者・事業者の受発注拡大を図り、地域産業の底上げや地域経済活性化の取組みを促進させる。 有望な地域資源の販路を開拓し、地域経済の活性化を促進するため、運営に対する財政支援を行う。
事業費の内訳	補助金：4,524千円 ※鳥取市地域商社運営支援事業補助金交付要綱
当初予算額	事業費：4,524千円 （財源）国交付金：2,035千円＋一般財源：2,489千円
決算額	事業費：4,524千円 （財源）一般財源：4,524千円 ※国：地方創生交付金を活用予定であったが、交付要件に合致しなかったため、全額一般財源で支出した。
事業の実績	① 販路開拓アドバイザーの営業により新規獲得口座3社（スーパー、百貨店） ② 平成31年3月15日現在：県内取引先170社、県外販売先（取引口座）150社を獲得 ③ 社内情報共有・N I システム（ソフト名）導入 ④ 鳥取市、鳥取県、琴浦町の商談会事業を受託 ⑤ 広島、神戸にて商談会を開催（取引開始3社、商談継続中19社） ⑥ 鳥取市からのスマート農業、次世代施設園芸事業の受託を中心にコンサル業務、実証実験、J G A P 研修会の開始 ⑦ 物販における品揃えの拡充
事業の効果	地域商社の運営に要する経費の一部を補助することにより、農業者・事業者の受発注拡大を図り、地域産業

	の底上げや地域経済活性化の取組が促進された。
今後の見通し	<p>本事業の補助金要綱は、平成 31 年度まで適用で、時限措置されている。</p> <p>これは、平成 29 年度に設立された「地域商社とっとり」の運営体制が確立するまでの期間の運営費用を補填することを目的とし、要綱制定されたためである。</p> <p>平成 30 年度決算における P / L においては、大幅な赤字となっているが、これは当初想定していない事業の引継を行ったもので、事業内容は拡充されており、運営は軌道に乗るものと考えている。</p>

(1) 今後の見通しについて【指摘事項】

当該事業費は、平成 29 年度に設立された「地域商社とっとり」の運営体制が確立される平成 31 年度までの 3 年間に限り運営費用を補填することを目的として交付された補助金である。

「地域商社とっとり」の第 2 期（平成 30 年度）の決算は大幅な赤字（税引前当期純損失 34,350 千円）であり、これは当初想定していなかった事業の引継ぎを行ったことが要因となっている。監査において、この赤字の要因である引継ぎの内容を確認したが、所管課である経済・雇用戦略課から明確な回答が得られなかった。今後の見通しでは、「地域商社と通りの運営は軌道に乗るものと考えている。」となっているが、引継ぎの内容を把握しているとは言えず、軌道に乗るものという根拠が明らかでない。

市は運営費用の補助金を交付していることから、所管課は「地域商社とっとり」の赤字の要因となっている事業引継ぎの内容をしっかりと把握したうえで、運営に対する財政支援を行う必要がある。

8-2 シティセールス推進事業（地方創生推進交付金活用事業）

所管課	経済観光部 経済・雇用戦略課
事業内容	大阪市中之島に設置した「麒麟のまち関西情報発信拠点」の施設管理運営及び本施設を拠点とした各種プロモーション事業を行う。
事業目的	平成29年度より、本市の主要商圏である関西圏において、「麒麟のまち圏域（1市6町）」（鳥取県：鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町、兵庫県：香美町・新温泉町）のブランド化を推進するため、「麒麟のまち関西情報発信拠点」を整備した。 圏域の広域的な連携により、交流人口の増加、地元産品の販路拡大を図る。
事業費の内訳	(1) 関西情報発信拠点管理運営業務 35,000 千円（債務負担行為） (2) 麒麟のまちセールスプロモーション業務 9,893 千円
当初予算額	事業費：44,893 千円（上記事業費内訳のとおり） （参照）債務負担行為：限度額 175,229 千円 平成28年度設定 平成29～令和3年度まで5か年 実績 平成29年度：35,000 千円 平成30年度：35,000 千円
決算額	事業費：44,893 千円 (1) 麒麟のまち関西情報発信拠点の管理及び運営に関する業務委託：35,000 千円 (2) セールスプロモーション展開支援業務：9,893 千円（凸版印刷） 【財源】 国交付金：21,383 千円 事業収入：2,126 千円 一般財源：21,383 千円 ※事業収入：関西情報発信拠点収益金 2,126 千円＝固定納付 1,800 千円＋変動納付 326 千円
事業の実績	【施設利用者数】 69,935 人 【売上高】 81,924 千円（飲食）73,271 千円（物販）8,653 千円 【アプリ登録者数】 1,542 人 R1.7.17 現在 【その他】 ① 情報の受発信・・・Facebook（2019年3月29日現

	<p>在 259 フォロワー)</p> <p>地域産品・観光・行政情報等圏域内の幅広い情報を毎日1～2通の情報発信。</p> <p>オリジナルアプリの会員獲得のサポート 情報発信・アンケート等を実施。</p> <p>② 地元食材を使用した飲食販売・・・中央フードサービス株式会社へ業務を委託。</p> <p>市・中央フードサービス(株)・地域商社とつとりで、毎月、経営会議を開催。問題点や課題について協議</p> <p>③ 地元産品の産品展示販売・・・市主催のグリーンマーケットや各種イベントに協力。</p> <p>物産販売のコーナーで、2019年3月末で圏域内：87社(者)・291アイテムを取扱い。</p> <p>④ 地元産品の販路拡大・・・2019年1月に鳥取市と連携し、出展社(者)26社・バイヤー46名が参加する「麒麟のまち食品商談会」を開催。</p> <p>⑤ 新商品や改良商品などを積極的に拠点において販売し、消費者の意見収集を行う。</p> <p>⑥ 施設の利用促進策・・・営業活動に使用する会社案内やリーフレットに施設に関する情報を掲載。</p>
事業の効果	<p>施設利用者数及び施設での売上実績は、計画及び前年実績をともに上回っており、新規顧客・既存顧客を含めた利用者に対し、鳥取市を中心とした麒麟のまち圏域の情報発信拠点というイメージを更に印象付けることが出来ている。</p> <p>売上は順調に推移しており、リピート客等の店舗へのロイヤリティを高める試みとして、飲食提供のアイドルタイムに様々なイベントを企画・開催。また、一般酒類小売業免許を取得し、飲食部門との連動性を持った日本酒の販売を開始している。</p> <p>フェイスブック等SNSによる情報発信については、フォロワー数は微増であるが上振れの兆候があり、当施設の知名度アップはもとより、圏域内の情報発信手段のひとつとして活用が出来ている。</p> <p>圏域を中心とする地域の商材の販路拡大支援について</p>

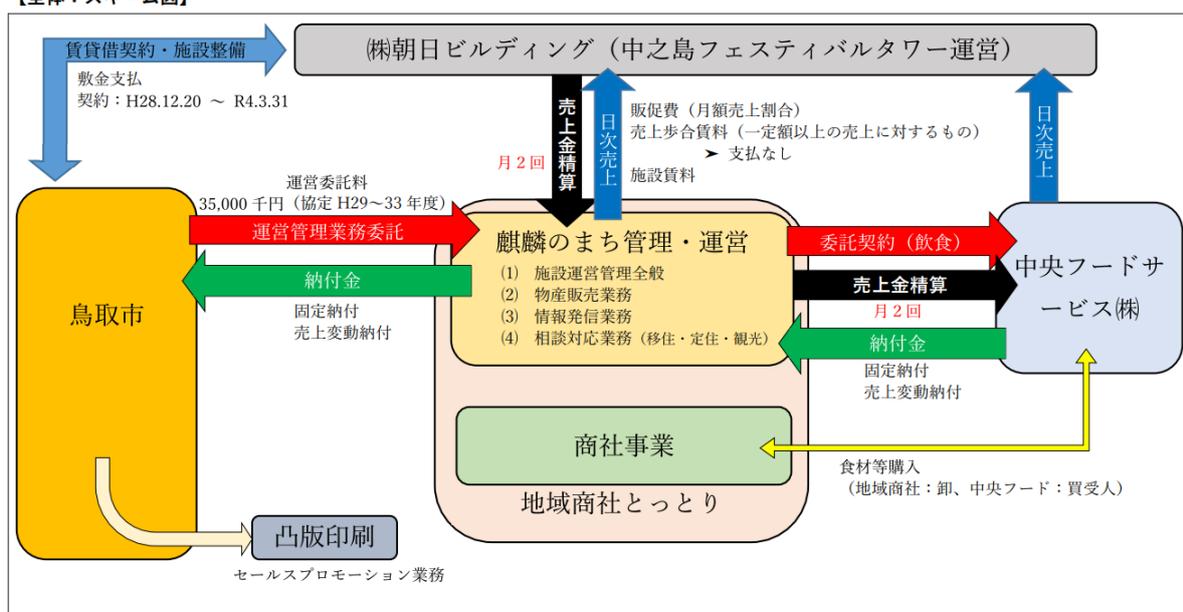
	は、11月に広島市、1月に神戸市にて、鳥取市とともに実施した飲食業・小売業者向けの商談会を開催し、成果も出てきている。
今後の見通し	平成29年度から平成33年度までの基本協定を基に支出している。 当初予定と比較し、一定程度は目標推計以上で推移しているため、基本目標の遵守を前提とし、事業を継続していく。



麒麟のまち関西情報発信拠点

麒麟のまち関西情報発信拠点スキーム図

【全体：スキーム図】



(1) 麒麟のまちの飲食部門の業者の選定について【意見】

麒麟のまちの飲食部門を地域商社とっとりが中央フードサービス㈱に委託している。中央フードサービス㈱は固定納付や売上変動による納付金の負担をしているが、初期投資や維持費・管理費等の負担は少なく、大変有利な条件で運営していると思われる。

したがって、地域商社とっよりは、広く麒麟のまち圏域の市町村の業者も含め、競争入札で業者を選定する方法が考えられる。

9 起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費

所管課	経済観光部 経済・雇用戦略課 企業立地・支援課
事業内容	(1) ふるさととっとり創業スクール 首都圏及び関西圏において、創業や鳥取暮らしに関する知識・情報等を習得するためのセミナー等を開催することにより、県外から移住創業者を呼び込むとともに、地元住民も含めた地域全体における起業の促進を図る。 (2) 鳥取市まちづくり融資～リノベーション創業型～ (3) とっとりまちづくりファンド (4) クラウドファンディング活用支援 (5) 各種創業関連相談等
事業目的	「起業を応援する鳥取市」のイメージを県内外に定着させるため、地元の人々の起業に対する機運を盛り上げ、地域全体における起業を促進する。 魅力あるまちづくり事業に、集中的に投資・融資を行うことで、単発的な事業開始のみならず、波及的な効果促進を目指す。 このことにより、居住人口増加、新規創業・開業数増加、空き家・空き店舗利用促進、地元事業者・事業所数の維持等の効果を期待する。
事業費の内訳	【当初予算】 旅費：ふるさととっとり創業スクール 198 千円 委託料：ふるさととっとり創業スクール事業 1,867 千円 【6月補正】 補助金：鳥取市まちづくり融資～リノベーション創業型～ 1,148 千円 出資金：とっとりまちづくりファンド 40,000 千円
当初予算額	【当初予算】 事業費：2,065 千円 全額一般財源 【6月補正】 事業費：41,148 千円 全額一般財源
決算額	旅費：97 千円 ふるさととっとり創業スクールへの参加 委託料：1,809 千円 ふるさととっとり創業スクール事業の委託（委託先：鳥取商工会議所） 補助金：0 円 11月に運用開始された利子補給金（補助）だが、

	<p>実績 0 件</p> <p>出資金：40,000 千円 とっとりまちづくりファンド有限責任事業組合への出資</p>
事業の実績	<p>(1) とっとり移住者・創業者の体験談発表による情報提供を行うセミナーを開催</p> <p>平成 30 年 12 月 14 日 東京都千代田区 参加者 10 名（事務局等除く）</p> <p>平成 31 年 1 月 18 日 大阪市西区 参加者 7 名（事務局等除く）</p> <p>(2) 平成 30 年 11 月より運用開始</p> <p>(3) 平成 31 年 2 月より運用開始</p> <p>(4) F A V V O 鳥取のエリアパートナーとして、利用希望者があれば紹介。 ※事業費：0 円</p> <p>(5) 随時、創業希望者があった場合、創業支援等事業計画に基づき支援。 ※事業費：0 円</p>
事業の効果	<p>(1) 平成 28 年度から 3 か年の計画で実施。参加者のうち、移住希望者は複数あるも、創業を伴う希望者は稀であり、移住者実績もなかったため、平成 30 年度をもってセミナー形式での支援は終了する決定を行った。</p> <p>(2)/(3) 平成 29 年度まで、新規創業・開業者に対する補助を実施していたが、魅力あるまちづくり事業に集中的に投資・融資するよう制度設計を行い、平成 30 年 11 月に融資制度、平成 31 年 2 月に投資制度が運用開始された。平成 30 年度中では、実績はなかったが、平成 31 年 6 月に投資・融資の 1 号案件が出されている。</p> <p>(4)/(5) 創業希望者の相談時に、活用できるオプションとして提示。直接、紹介する事例はなかったが、鳥取市でのクラウドファンディングによる創業者は 1 名確認される。</p>
今後の見通し	<p>(1) 平成 30 年度限りで事業終了。委託先の商工会議所を通じ、セミナー参加者のフォローアップを依頼している。</p> <p>(2)/(3) 第 1 号案件以降も、7 月に 2 件目の融資案件が持ち上がってきており、事業の活用が進んでいる。継続して事業の周知を図り活用を促していく。</p>

(4)/(5) 創業希望者の相談を通じ、ニーズ把握を行いつつ、有効的な支援策を研究している。
--



ふるさととっとり創業スクール（大阪）



ふるさととっとり創業スクール（東京）

(1) ふるさととっとり創業スクール事業の有効性、経済性について【意見】

ふるさととっとり創業スクール事業委託業務の契約の目的は、「首都圏及び関西圏において、創業や鳥取暮らしに関する知識・情報等を習得するためのセミナー等を開催することにより、県外から移住創業者を呼び込むとともに、地元住民も含めた地域全体における起業の促進を図る。」と随意契約理由書に記載されている。

当該事業は、平成 28 年度から 3 か年の計画で実施されたものであるが、セミナーへの参加人数は年々減少し、創業を伴う移住希望者は稀であり、移住者実績もなかったとのことであり、費用対効果に乏しく、具体的な成果が認められない。平成 30 年度をもってセミナー形式での支援は終了する決定を行っているが、3 か年の計画で実施する事業であっても、事業の有効性、経済性の観点で問題が生じてくる可能性があるものは、無理に実施することなく、場合によっては途中の年度で取りやめることや、有効性、経済性の観点から低コストで高い効果の得られるような工夫をすることを検討する必要があるものと思われる。

10 観光活動事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	観光行政の円滑な推進を図るとともに、鳥取市でのコンベンション開催の誘致に努める。また、姫路市・岡山市と連携したHOTトライアングルPR活動を実施し、3都市への誘客と都市間交流を図る。
事業目的	本市を積極的にPRし、観光客の増加を図る。
事業費の内訳	普通旅費 192 千円 イベント用事務用品・お土産代等購入費、封筒、名刺印刷費、事務所用事務用品購入費等 368 千円 観光パンフレット等郵送料、クリーニング代等 264 千円
当初予算額	1,446 千円
決算額	824 千円
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県コンベンション誘致説明会への参画 ・HOTトライアングルPR活動は、30年度幹事市(岡山市)の都合により事業全体が延期となったため実施なし
事業の効果	観光行政の円滑な推進により、本市の積極的なPRが行えた。
今後の見通し	関係団体や交流自治体との連携により、手段の改善を講じながら今後も観光PRとコンベンション誘致活動を展開する。

姫路城

姫路市、岡山市、鳥取市の三都府は、歴史の長さを誇ります。江戸時代の治世の中心地として、歴史的価値を高く評価されています。自然の美しさを活かした景観と、歴史の重みを感じさせる建築が、三都府の魅力を際立たせています。

岡山後楽園

岡山後楽園は、岡山市の中心部に位置する。江戸時代中期に築かれた庭園で、自然の美しさを活かした景観と、歴史的価値を高く評価されています。自然の美しさを活かした景観と、歴史の重みを感じさせる建築が、三都府の魅力を際立たせています。

曹源寺

曹源寺は、岡山市の中心部に位置する。江戸時代中期に築かれた寺で、自然の美しさを活かした景観と、歴史的価値を高く評価されています。自然の美しさを活かした景観と、歴史の重みを感じさせる建築が、三都府の魅力を際立たせています。

池田家が繋ぐ 三都城下町

三都府の歴史的な結びつきは深く、江戸時代に行われた池田家の田舎えなどにより、豪族や商人を合わせた人の移動など、幅広い交流が行われてきました。

- 慶長5年(1600年) 豊前守池田忠雄が備前守に任ぜられ、岡山に上り、岡山藩の礎を築く。
- 慶長8年(1603年) 岡山藩が岡山22万石の藩となる。
- 慶長18年(1613年) 岡山藩が岡山42万石の藩となる。
- 元和元年(1615年) 池田忠雄が岡山から岡山に転封され、岡山22万石の藩主となる。
- 元和3年(1617年) 池田忠雄が岡山から岡山に転封され、岡山22万石の藩主となる。
- 寛永9年(1632年) 池田忠雄が岡山から岡山に転封され、岡山22万石の藩主となる。

池田家系図

池田家系図は、池田忠雄が岡山藩の藩主として、岡山に上り、岡山藩の礎を築く。その後、池田忠雄が岡山から岡山に転封され、岡山22万石の藩主となる。寛永9年(1632年)に池田忠雄が岡山から岡山に転封され、岡山22万石の藩主となる。

池田家系所

池田家系所は、岡山市の中心部に位置する。江戸時代中期に築かれた家系所で、自然の美しさを活かした景観と、歴史的価値を高く評価されています。自然の美しさを活かした景観と、歴史の重みを感じさせる建築が、三都府の魅力を際立たせています。

興神寺

興神寺は、岡山市の中心部に位置する。江戸時代中期に築かれた寺で、自然の美しさを活かした景観と、歴史的価値を高く評価されています。自然の美しさを活かした景観と、歴史の重みを感じさせる建築が、三都府の魅力を際立たせています。

お城だけではない 楽しさたっぷり HOTトライアングル

姫路市、岡山市、鳥取市の三都府は、歴史の長さを誇ります。江戸時代の治世の中心地として、歴史的価値を高く評価されています。自然の美しさを活かした景観と、歴史の重みを感じさせる建築が、三都府の魅力を際立たせています。

三都府で連携し、交流をより一層深めたいと考えて、人・物・情報の交流を促進するための交流の場を創出していきます。

アクセス

姫路	岡山	鳥取
<p>新幹線(のぞみ) 約20分 山陽自動車道(山陽自動車道) 岡山ICまで約18分</p>	<p>新幹線(のぞみ) 約15分 山陽自動車道(山陽自動車道) 岡山ICまで約18分</p>	<p>新幹線(のぞみ) 約15分 山陽自動車道(山陽自動車道) 岡山ICまで約18分</p>

インフォメーション

姫路市	岡山市	鳥取市
<p>姫路市観光局 079-297-2552 http://www.city.himeji.jp (山陽自動車道)IC付設センター 0799-222-2285 http://www.himeji-kankou.jp</p>	<p>岡山県観光コンベンション推進課 078-863-1332 http://www.city.okayama.jp (山陽自動車道)IC付設センター 078-863-1332 http://www.okayama-kankou.jp</p>	<p>鳥取県観光局 0857-50-3227 http://www.city.tottori.jp I-鳥取自動車道IC付設センター 0857-50-3227 http://www.tottori-kankou.jp</p>

姫路市・岡山市と連携した HOT トライアングル PR 活動

(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

11 観光ボランティア活性化事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	(1) 観光ボランティアガイド活動及び養成事業への支援 (2) 観光大学を開設し、観光マイスター育成を支援
事業目的	観光ボランティアガイドを養成して本市の魅力をPRするとともに、観光大学への支援を行い、本市を訪れる観光客に対するおもてなしの向上を目指す。
事業費の内訳	観光ボランティアガイド事業委託 1,246 千円 観光大学事業補助金 526 千円
当初予算額	1,772 千円
決算額	1,772 千円
事業の実績	観光ボランティアガイド団体数 7 団体 観光ボランティアガイド利用者数 5,086 名 観光ガイド詰所「きなんせえ家」の設置（4月1日～11月30日） 観光大学の開催 5日開講 観光マイスター新規認定数 23名（合計475名）
事業の効果	観光ボランティアガイドの活動を支援することにより、本市を訪れる観光客の満足度向上に寄与した。また、観光大学を開校し、観光産業従事者をはじめとした鳥取市全体で観光客をもてなす体制づくりを行った。
今後の見通し	本市の観光客に対するホスピタリティ強化のため、今後もボランティアガイド及び観光マイスターの育成とスキルアップが必要であることから継続して実施する。



観光ボランティアガイド活動



観光大学

(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

12 「恋人の聖地/白兔海岸」推進事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 NPO法人地域活性化センター「恋人の聖地」年間負担金を拠出する。 2 白兔周辺の景観形成を図る。 3 白兔まっりのイベント支援を行う
事業目的	「恋人の聖地/白兔海岸」として、白兔地域のイメージづくりを行い、情報発信を図ることで市民及び県外からの誘客を図る。
事業費の内訳	「恋人の聖地」運営負担金 162 千円 美観形成業務委託費 160 千円 白兔まつり事業補助金 350 千円
当初予算額	672 千円
決算額	672 千円
事業の実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 「恋人の聖地」や縁結びの地として国内外へ情報発信を実施 (web ページによる発信) 2 地元観光協会と連携し景観の維持管理を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・除草作業 3 回 ・樹木伐採作業 2 回 ・清掃作業 13 回 3 地元観光協会の実施する「白兔まつり」を支援 (交付先：白兔観光協会 交付額：350 千円 補助率：1/2) 白兔海岸周辺観光客入込数 597 千人
事業の効果	白兔海岸や白兔神社周辺は、「恋人の聖地」としての選定や、神話に基づき縁結びのパワースポットとして観光地のイメージづくりをしてきたことにより、多くの観光客を誘客できている。さらに、鳥取砂丘に次いで多くの外国人観光客に周遊先として選ばれている。
今後の見通し	このエリアの魅力である白兔神社やマリンレジャーなどの情報発信に引き続き取り組むとともに、吉岡温泉や湖山池などの周辺地域との連携により回遊性を高め、滞在型観光を推進していく。



白兔まつり



「恋人の聖地」

(1) 事業実施報告書の内容確認について【意見】

鳥取市は、白兔観光協会に白兔海岸地域の美観形成のための除草業務及び樹木伐採業務を委託している。委託先である白兔観光協会から提出された事業実施報告書では、事業活動経費の人件費 140,000 円の内訳として、時給 700 円×延べ人数 200 名と記載されているが、時給 700 円は鳥取県の最低賃金（時給 762 円）を下回っている。

市としては、白兔海岸周辺を観光地としてふさわしい美観を保持するための樹木伐採や除草などについて、予算の範囲内で地元の観光協会に業務を委託しており、業務実施に係る具体的な方法等の決定は委託先に委ねているとのことである。また、事業実施報告書の内容は、あくまでも委託先が委託費に対する算定根拠を人件費として示しているものであり、実際の方法とは異なるものであるとのことである。

委託費に対する算定根拠を人件費として示す場合には、最低賃金を下回る時給で業務を委託しているような誤解を与えないように指導を行い、今後は事業実施報告書の記載内容が適切であるか十分に確認する必要がある。

13 知名度アップイベント推進事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	姉妹都市での観光PR、関西・山陽等都市圏でのプロモーションの実施（伝統芸能披露、観光パンフレット配布など）。
事業目的	県外での集客力のあるイベントや集客施設などにおいて、しゃんしゃん傘踊りの派遣や観光ブースを出展し、鳥取市の魅力をPRすることにより知名度アップと観光客の誘客を図る。
事業費の内訳	報償費 30 千円 旅費 462 千円 土産代 90 千円 傷害保険料 7 千円 業務委託料 1,785 千円 ETC使用料 885 千円 地方創生先行型交付金返納 1,478 千円
当初予算額	3,462 千円
決算額	4,734 千円（12月補正1,478千円）（不用額206千円）
事業の実績	姉妹都市での観光PR 3回（姫路市、岩国市） 関西・山陽等都市圏でのプロモーション 10回（ボートレース尼崎、山陰DC大阪駅PRイベント、観光列車「あめつち」PRイベント、大阪鶴見鳥取県観光PRイベント、JRA阪神競馬場「鳥取特別」傘踊り派遣、在岡山県人会総会への傘踊り派遣等）
事業の効果	姉妹都市では毎年行っている観光PRを続けることにより、継続的な誘客に寄与した。また、都市圏では本市の伝統芸能である傘踊りを派遣することで鳥取市の知名度向上に寄与した。
今後の見通し	鳥取県、観光連盟等との連携をより強化し、知名度アップと誘客の向上に努める



観光PR（姫路市）



観光プロモーション

(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

14 宣伝推進事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外旅行会社へのプロモーション ・ マスコミ、メディアへの情報発信 ・ 観光パンフレット等の製作
事業目的	<p>県外旅行会社に対し、本市の魅力ある観光素材や観光ルート、イベント等を積極的に紹介し、本市を訪れる観光客の誘客を図る。また、マスコミ・メディアへの旬な観光情報を提供し、全国へ情報発信を行う。</p>
事業費の内訳	<p>普通旅費 316 千円 懸垂幕作成費、ノベルティ購入費、イベント等事務用品費 697 千円 観光チラシ印刷費 2,035 千円 メディア広告掲載費、各所広告掲出費 6,079 千円 観光パンフレット等製作委託費、観光案内業務委託費等 4,340 千円</p>
当初予算額	13,594 千円
決算額	13,467 千円
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商談会参加（関西地区 2 回、中京地区 2 回） ・ メディア広告掲載（観光ガイドブック等 14 回、新聞広告欄 6 回） ・ 広告掲出（鳥取空港、スーパーはくと車内、中国自動車道加西・名塩 SA） ・ 観光パンフレット等の製作
事業の効果	<p>商談会における県外旅行会社への観光素材等の紹介・提案や、メディアへの広告掲載等による観光情報の発信を通じ、知名度の上昇や観光誘客に寄与した。</p>
今後の見通し	<p>効果の高い宣伝手法により、観光資源のPRを行い、さらなる観光誘客につなげていきたい。また、広域観光連携の視点で近隣自治体等と協力した情報発信も行っていきたい。</p>



観光パンフレット（鳥取旅時間）



観光パンフレット（鳥取砂丘周辺マップ）

(1) 委託費の精算について【意見】

観光パンフレット等の作成・更新及び管理を行うことを目的として、一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会と観光パンフレット等作成業務の委託契約を4,000千円で締結している。

当該委託契約は、随意契約で行われており、随意契約の予定価格を決定する際に徴収した見積書では、観光パンフレットの作成部数は、鳥取旅時間60,000部、砂丘周辺マップ20,000部、市街地マップ50,000部、白兔パンフレット10,000部と記載されている。

一方、委託契約書の別紙仕様書においては、印刷物の部数については、鳥取旅時間60,000部の記載はあるが、その他各種パンフレット等の部数については、その都度担当課と協議を行うものとされている。

そして、委託先から事業実施後に提出された事業報告書では、観光パンフレットの印刷部数は、鳥取旅時間90,000部、市街地マップ85,000部、砂丘パンフレット10,000部と記載されている。

契約額の目安となる見積書に記載されている観光パンフレットの部数と、事業報告書に記載されている観光パンフレットの部数を比較すると、実際に作成したパンフレットの部数が大幅に増加しているが、委託金額の範囲内で作成業務が行われたとのことで、変更契約は行われていない。

委託契約書では、委託費の全額は前金払いとされており、委託費の精算を行うこととはなっていないため、委託費の精算は行われていないが、印刷物の部数が協議によって決まるケースでは、パンフレットの印刷の要する費用も実際の印刷部数により変動することから、委託費の精算を行う必要がある。

15 国際観光推進事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 諸外国での鳥取市観光情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外商談会への参加 ・ 海外メディア広告掲出 ● 外国人観光客受入環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取市国際観光客サポートセンターの運営 ・ 外国人観光客周遊タクシーの運行支援 ● 外国人観光客の誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人観光客高速バスの運行支援
事業目的	東アジアを中心とした海外市場へ効果的な誘客宣伝や広報活動、また受入体制を整備することにより、外国人観光客の誘客を図る。
事業費の内訳	<p>商談会参加・F A Mツアー招聘等旅費 1,595 千円</p> <p>商談会・PRセミナー等用お土産代 57 千円</p> <p>海外契約送金手数料 30 千円</p> <p>鳥取市国際観光客サポートセンター運営委託費、海外PR委託費、海外ガイドブック広告掲載費、海外現地広告掲出費 30,865 千円</p> <p>鳥取市国際観光客サポートセンター借上料 1,100 千円</p> <p>鳥取市外国人観光客二次交通運行支援事業補助金、鳥取市外国人観光客高速バス運行支援事業補助金、鳥取市多言語音声翻訳システムビジネスモデル実証事業補助金 32,287 千円</p>
当初予算額	70,785 千円
決算額	<p>65,934 千円（2月補正 2,743 千円減額）</p> <p>（うち地方創生推進交付金 3,500 千円、</p> <p>鳥取県観光二次交通運行支援補助金 8,515 千円</p> <p>鳥取県市町村地方創生交付金 1,500 千円）</p>
事業の実績	<p>商談会参加（台湾市場 3 回、香港市場 3 回、シンガポール市場 2 回）</p> <p>海外現地プロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 台湾市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地旅行会社と直接契約によるプロモーション

	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロガー、メディア FAM ツアーの実施 ・旅行雑誌掲載、AGT への商品造成依頼 ・YouTuber による動画制作、発信 ・SNS による情報発信 ・観光セミナーの実施 ・旅行博、台北市内 MRT 駅への広告掲出 <p>●香港市場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア、インフルエンサーFAM ツアーの実施 ・旅行雑誌掲載 ・YouTuber による動画制作、発信 ・SNS による情報発信 <p>鳥取市国際観光客サポートセンターの運営（外国人来訪者数 14,511 人）</p> <p>外国人観光客周遊タクシーの運行支援（利用者数 6,376 人）</p> <p>※鳥取市外国人観光客二次交通運行支援事業補助金 （交付先：鳥取ハイヤー共同組合 交付額：17,030 千円）</p> <p>外国人観光客高速バスの運行支援（利用者数 3,162 人）</p> <p>※鳥取市外国人観光客高速バス運行支援事業補助金 （交付先：日本交通㈱ 交付額：8,257 千円）</p> <p>鳥取版多言語音声翻訳システムのビジネス化実証支援</p> <p>※鳥取市多言語音声翻訳システムビジネスモデル実証事業補助金 （交付先：(一社)鳥取県ハイヤータクシー協会 交付額：7,000 千円 補助率：1/2）</p>
事業の効果	<p>継続的な東アジア圏への海外プロモーションによって、東アジアを中心に鳥取の認知度を上昇させ、本市への誘客を促進した。また、多言語対応による観光案内所の運営や格安周遊タクシーの運行を支援することにより、外国人受入環境を整えている。</p>
今後の見通し	<p>ラグビーワールドカップや東京オリンピック、ワールド</p>

ドマスタゲームズなど国内で国際大会が多く開催され、世界各国から外国人観光客が来日することが見込まれる。

安定的に外国人観光客の誘客を図るためには、より幅広い国籍の外国人観光客の受入環境を整備する必要がある。そのため、新たな市場として、現在鳥取市内への来訪者数が増加傾向にあるシンガポールやタイ、アメリカ、フランスなどを誘客対象として検討している。



海外商談会



F A M ツアー



鳥取市国際観光客サポートセンター



鳥取市 外国観光旅客 3 hours 周遊計程車 2000 yen Tourist Taxi



接待時間：全年営業 8:30AM-5:30PM (12/31&1/1休)
 接待地点：鳥取市国際観光旅客支援中心 (鳥取火車站北口左側即是)
 需付費用：2000日圓 (每人2000日圓)
 乘車人数：每輛可乘4人
 利用時間：3個小時 (超過部分需另付追加費用)
 ※接待由會講英語・韓語・華語的工作人員來應對
 觀光路線方案等可隨時諮詢

問詢：鳥取市國際觀光旅客支援中心
 TEL +81 857-22-7935 / MAIL: international@hal.ne.jp

HOW TO USE? 2000 yen TAXI 3 HOURS GOOD SERVICE

- 鳥取火車站北口 向東70m
- 蓝色的招牌入口!!
- 對職員試著聽用法 也叫來計程車
- 司機來迎接

模型路線3小時:鳥取砂丘+1 受歡迎最佳3

1海
 鳥取沙丘 位於鳥取市，在福壽寺中橋山成橋南下的千代川...
 2006年，將這了有百年歷史的鳥取沙丘...
 山崎海亭・備前・備後・備前...
 此處具有日本的波瀾與優美與神話的令人目眩的景緻的景色以及清澈的深達25公尺的深水池。

2瀑
 鳥取砂丘 位於鳥取市，在福壽寺中橋山成橋南下的千代川...
 2006年，將這了有百年歷史的鳥取沙丘...
 山崎海亭・備前・備後・備前...
 此處具有日本的波瀾與優美與神話的令人目眩的景緻的景色以及清澈的深達25公尺的深水池。

3恋
 白鳥神社 白鳥海亭
 白鳥神社 位於鳥取市，在福壽寺中橋山成橋南下的千代川...
 2006年，將這了有百年歷史的鳥取沙丘...
 山崎海亭・備前・備後・備前...
 此處具有日本的波瀾與優美與神話的令人目眩的景緻的景色以及清澈的深達25公尺的深水池。

外国人観光客周遊タクシー

鳥取市 x 日本交通 聯合企劃高速巴士
 City of Tottori x Nihon Kotsu, an Intercity Bus Collaboration Project

大阪 ←→ 鳥取
 難波OCAT Namba OCAT 鳥取巴士站 Tottori Station Bus Terminal

外国観光旅客限定
 Only for foreign tourists
 超值巴士
 Special Price Bus

¥1000

関空 轉乘 transfer 鳥取
 大阪関西機場 KIX (Kansai-Airport) 難波OCAT Namba OCAT 鳥取車站巴士站 Tottori Station Bus Terminal

¥2050

Service Period: June 1st, 2017 - March 31st, 2018
 Bus Stop: Namba OCAT (Osaka), Tottori Station Bus Terminal (Tottori), Wakasa etc.
 利用期間: 平成29年6月1日 ~ 平成30年3月31日
 乘車地點: 難波OCAT (大阪)・鳥取巴士站 (鳥取)・若狹等

外国人観光客高速バスの運行支援

全国初の地方版 多言語音声翻訳アプリ TOTTRA

タクシーに広告が出せる TOTTRA を 導入しませんか?

3ヶ国語対応 英語 中国語 韓国語

コンタクト自動表示機能
 運転の中心に、スマートフォンを以て運転中に視線したまま、目的地や乗客の乗降場所を自動表示

鳥取対応機能
 鳥取地域の地名や住所など、国産の地名検索を基に、最新情報を向上させた検索機能

TOTTRAで、外国人とのコミュニケーションをもっとスムーズに!

最新機能はスマートフォンやタブレット端末に翻訳アプリをインストールしてご利用いただけます。言語の種を拡大し「知ってなし」を、新たなビジネスチャンスにしてみませんか?
 また、TOTTRAを導入していただいた事業者様は、鳥取県内を走るタクシーの車載タブレット端末にサイネージ広告を掲載することができます。県外のお客様のみならず、地元の方にも訴求することで今後の営業活動にも活用していただけます。

鳥取県は世界と連携し、地域観光活性化に貢献するべく活動しています。法人に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。お問い合わせ先は下記です。

一般社団法人 鳥取県ハイヤータクシー協会
 〒680-0004 鳥取県東牟婁郡鳥取市246番地10
 0850-2538-8338 FAX 0857-21-9670

鳥取版多言語音声翻訳システムのビジネス化実証支援

(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

16 観光協会等補助金

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	(一社)鳥取市観光コンベンション協会への運営補助
事業目的	鳥取市観光コンベンション協会の運営に要する経費を補助することにより、観光振興事業の円滑な運営を推進し、もって本市の観光振興を図る。
事業費の内訳	鳥取市観光コンベンション協会補助金 44,268千円
当初予算額	44,268千円
決算額	44,268千円(うちふるさと納税基金繰入金28,166千円)
事業の実績	観光コンベンション協会職員の人件費、事業費等への支援 補助率：人件費10/10 事業費・施設管理費及び広告宣伝費10/10 (予算の範囲内で交付)
事業の効果	観光コンベンション協会の運営を支援することで、行政のみでは補えない観光振興に寄与した。
今後の見通し	地域連携DMO「麒麟のまち観光局」との役割を明確化し、公益事業を軸とした運営体制に移行する必要がある。

(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

17 しゃんしゃん祭振興会補助金

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	鳥取しゃんしゃん祭開催に係る鳥取しゃんしゃん祭振興会への補助
事業目的	昭和40年に始まった鳥取しゃんしゃん祭は、鳥取の夏の一大イベントとして定着しており、毎年多くの踊り子と観客で賑わっている。今後、より一層鳥取の全国的認知度を高めていくための祭りとして活性化を図る。
事業費の内訳	鳥取しゃんしゃん祭振興会運営事業補助金 25,183千円
当初予算額	25,183千円
決算額	25,183千円
事業の実績	第54回鳥取しゃんしゃん祭 8月13日～15日 一斉傘踊り参加者数 120連 4,279人 観客動員数 319,000人
事業の効果	本市最大の観光イベントとして、3日間で30万人以上の観客があり、本市の観光振興に大きく寄与。
今後の見通し	鳥取しゃんしゃん祭開催に伴う交流人口の増加と経済効果の向上も視野に入れ、祭りの魅力と知名度を高めていく必要がある。また、伝統的な傘踊りを伝承していく体制づくりや、祭の運営に多くの市民や関係団体を巻き込む仕組みづくりを検討していきたい。



鳥取しゃんしゃん祭のチラシ



鳥取しゃんしゃん祭

(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

18 コンベンション誘致支援事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	<p>(公財) とっとりコンベンションビューローが行うコンベンション開催助成金交付制度の財源として、鳥取市開催分に対し補助金を交付する。</p> <p>また、その助成対象外となる、本市開催の延べ宿泊人数 200 人未満の小規模コンベンションについても補助(鳥取市観光コンベンション協会へ交付)を行う。</p>
事業目的	<p>国内外から多くの参加者が見込まれるコンベンションは、開催を通じて主催者、参加者、出店者等の消費支出や、宿泊、飲食、観光(アフターコンベンション)等、開催地域に大きな経済波及効果が見込まれるため、開催に係る費用を助成することで本市へのコンベンション誘致を促進する。</p>
事業費の内訳	<p>(公財) とっとりコンベンションビューロー補助金 5,166 千円</p> <p>(一社) 鳥取市観光コンベンション協会補助金 2,596 千円</p>
当初予算額	7,250 千円
決算額	7,762 千円
事業の実績	<p>とっとりコンベンションビューロー補助分 25 件</p> <p>鳥取市観光コンベンション協会 36 件</p>
事業の効果	<p>とっとりコンベンションビューローが行う補助に加え、その対象外となる小規模コンベンションにも本市独自の補助を行うことで、コンベンション誘致に寄与した。</p>
今後の見通し	<p>コンベンション開催は大きな経済波及効果が見込まれることから、今後も継続して実施し、市内開催を誘致していく必要がある。</p>

(1) 監査の結果

特に指摘事項及び意見はない。

19 ループバス運営支援助成費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	土、日、祝、振替休日及び夏季の、多くの観光客が訪れる日程で、鳥取駅を起点とし、鳥取城跡、鳥取砂丘、鳥取港（かにっこ館）、湖山池ナチュラルガーデンなどを周遊するルートで観光周遊バス「ループ麒麟獅子」を運行する。
事業目的	多くの観光客が訪れる日程に合わせ、市内の主要な観光地を周遊するバスを運行することで、滞在型観光の推進を図る。
事業費の内訳	観光周遊バス「ループ麒麟獅子」運行委託 6,286 千円
当初予算額	6,286 千円
決算額	6,286 千円
事業の実績	運行日数 141 日間 便数 1 日 12 便 乗車人数 42,896 人
事業の効果	車内の多言語案内や Wi-Fi 利用可等、国内だけでなく外国人観光客にも対応することで多くの利用者があった。また、市内バス会社や JR 西日本等の企画商品と連携するなど、利用者の満足度の高い移動手段として本市の観光振興に寄与した。
今後の見通し	ループ麒麟獅子は鳥取市内の利便性の高い周遊観光手段の一つとして浸透しており、継続した実施が必要。



観光周遊バス「ループ麒麟獅子」

ループ麒麟獅子時刻表
 土・日・祝日
 運行日 振替休日
 夏季(8/1-8/31)
 鳥取駅前バスターミナル【0番】乗場

周遊コース(駅→鳥取特荘→鳥取市・海上(上)ナチュラガーデン→駅) (←線) (→線) 3894円(税別)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1	8:31	8:34	8:41	8:47	8:48	8:53	8:54	8:58	9:12	9:14	9:25	9:40	9:45	9:50	10:04	10:15	10:30	10:35	10:40	10:44	10:55	11:10	11:25	11:30	11:35	11:40	11:45	11:50	11:55	12:00	12:05	12:10	12:15	12:20	12:25	12:30	12:35	12:40	12:45	12:50	12:55	13:00	13:05	13:10	13:15	13:20	13:25	13:30	13:35	13:40	13:45	13:50	13:55	14:00	14:05	14:10	14:15	14:20	14:25	14:30	14:35	14:40	14:45	14:50	14:55	15:00	15:05	15:10	15:15	15:20	15:25	15:30	15:35	15:40	15:45	15:50	15:55	16:00	16:05	16:10	16:15	16:20	16:25	16:30	16:35	16:40	16:45	16:50	16:55	17:00	17:05	17:10	17:15	17:20	17:25	17:30	17:35	17:40	17:45	17:50	17:55	18:00	18:05	18:10	18:15	18:20	18:25	18:30	18:35	18:40	18:45	18:50	18:55	19:00	19:05	19:10	19:15	19:20	19:25	19:30	19:35	19:40	19:45	19:50	19:55	20:00	20:05	20:10	20:15	20:20	20:25	20:30	20:35	20:40	20:45	20:50	20:55	21:00	21:05	21:10	21:15	21:20	21:25	21:30	21:35	21:40	21:45	21:50	21:55	22:00	22:05	22:10	22:15	22:20	22:25	22:30	22:35	22:40	22:45	22:50	22:55	23:00	23:05	23:10	23:15	23:20	23:25	23:30	23:35	23:40	23:45	23:50	23:55	24:00	24:05	24:10	24:15	24:20	24:25	24:30	24:35	24:40	24:45	24:50	24:55	25:00	25:05	25:10	25:15	25:20	25:25	25:30	25:35	25:40	25:45	25:50	25:55	26:00	26:05	26:10	26:15	26:20	26:25	26:30	26:35	26:40	26:45	26:50	26:55	27:00	27:05	27:10	27:15	27:20	27:25	27:30	27:35	27:40	27:45	27:50	27:55	28:00	28:05	28:10	28:15	28:20	28:25	28:30	28:35	28:40	28:45	28:50	28:55	29:00	29:05	29:10	29:15	29:20	29:25	29:30	29:35	29:40	29:45	29:50	29:55	30:00	30:05	30:10	30:15	30:20	30:25	30:30	30:35	30:40	30:45	30:50	30:55	31:00	31:05	31:10	31:15	31:20	31:25	31:30	31:35	31:40	31:45	31:50	31:55	32:00	32:05	32:10	32:15	32:20	32:25	32:30	32:35	32:40	32:45	32:50	32:55	33:00	33:05	33:10	33:15	33:20	33:25	33:30	33:35	33:40	33:45	33:50	33:55	34:00	34:05	34:10	34:15	34:20	34:25	34:30	34:35	34:40	34:45	34:50	34:55	35:00	35:05	35:10	35:15	35:20	35:25	35:30	35:35	35:40	35:45	35:50	35:55	36:00	36:05	36:10	36:15	36:20	36:25	36:30	36:35	36:40	36:45	36:50	36:55	37:00	37:05	37:10	37:15	37:20	37:25	37:30	37:35	37:40	37:45	37:50	37:55	38:00	38:05	38:10	38:15	38:20	38:25	38:30	38:35	38:40	38:45	38:50	38:55	39:00	39:05	39:10	39:15	39:20	39:25	39:30	39:35	39:40	39:45	39:50	39:55	40:00	40:05	40:10	40:15	40:20	40:25	40:30	40:35	40:40	40:45	40:50	40:55	41:00	41:05	41:10	41:15	41:20	41:25	41:30	41:35	41:40	41:45	41:50	41:55	42:00	42:05	42:10	42:15	42:20	42:25	42:30	42:35	42:40	42:45	42:50	42:55	43:00	43:05	43:10	43:15	43:20	43:25	43:30	43:35	43:40	43:45	43:50	43:55	44:00	44:05	44:10	44:15	44:20	44:25	44:30	44:35	44:40	44:45	44:50	44:55	45:00	45:05	45:10	45:15	45:20	45:25	45:30	45:35	45:40	45:45	45:50	45:55	46:00	46:05	46:10	46:15	46:20	46:25	46:30	46:35	46:40	46:45	46:50	46:55	47:00	47:05	47:10	47:15	47:20	47:25	47:30	47:35	47:40	47:45	47:50	47:55	48:00	48:05	48:10	48:15	48:20	48:25	48:30	48:35	48:40	48:45	48:50	48:55	49:00	49:05	49:10	49:15	49:20	49:25	49:30	49:35	49:40	49:45	49:50	49:55	50:00	50:05	50:10	50:15	50:20	50:25	50:30	50:35	50:40	50:45	50:50	50:55	51:00	51:05	51:10	51:15	51:20	51:25	51:30	51:35	51:40	51:45	51:50	51:55	52:00	52:05	52:10	52:15	52:20	52:25	52:30	52:35	52:40	52:45	52:50	52:55	53:00	53:05	53:10	53:15	53:20	53:25	53:30	53:35	53:40	53:45	53:50	53:55	54:00	54:05	54:10	54:15	54:20	54:25	54:30	54:35	54:40	54:45	54:50	54:55	55:00	55:05	55:10	55:15	55:20	55:25	55:30	55:35	55:40	55:45	55:50	55:55	56:00	56:05	56:10	56:15	56:20	56:25	56:30	56:35	56:40	56:45	56:50	56:55	57:00	57:05	57:10	57:15	57:20	57:25	57:30	57:35	57:40	57:45	57:50	57:55	58:00	58:05	58:10	58:15	58:20	58:25	58:30	58:35	58:40	58:45	58:50	58:55	59:00	59:05	59:10	59:15	59:20	59:25	59:30	59:35	59:40	59:45	59:50	59:55	60:00

お問い合わせ: 鳥/鳥取観光 TEL (0857) 22-5155 (観光振興) ・ 日本交通 TEL (0857) 23-1122 (JR東日本)
 鳥取市観光案内所 TEL (0857) 22-3318 ・ (一社)鳥取市観光コンベンション協会 TEL (0857) 25-0756

(1) 乗車率を高めるための広報について【意見】

乗降者数は年々増加傾向にあるものの、事業の実績から算定した1便当たりの平均乗車人数は約25人である。さらにバスの乗車率を高めるために、ループ麒麟獅子バス停周辺の観光施設をさらに周知するなど、積極的な広報をすべきである。

(2) 委託契約の明確化について【意見】

当該事業では、一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会と委託契約を締結し、委託費6,286千円を支払っている。委託先である鳥取市観光コンベンション協会から提出された「ループ麒麟獅子バス収支決算書」によると、委託費を含む収入合計が20,474千円、支出合計が15,637千円であり、収支差額が4,837千円となっている。収支差額4,837千円は委託契約書にないループ麒麟獅子バスの事業支出に充てられているとのことであるが、それらをあらかじめ明確化しておくとともに、必要経費を差し引いた委託料の収支差額がプラスとなる場合には、委託料を精算するような契約内容に見直すべきである。

20 観光イベント開催補助金

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	市内で開催される観光イベントに開催支援を行う。(対象：市民納涼花火大会、鳥取三十二万石お城まつり、青い鳥コンサート、因幡和太鼓の祭典)
事業目的	地域や団体などが中心となって開催する各種観光イベントを支援することにより、交流人口の拡大を図る。
事業費の内訳	市民納涼花火大会補助金 2,500 千円 鳥取三十二万石お城まつり補助金 1,416 千円 青い鳥コンサート補助金 450 千円 因幡和太鼓の祭典補助金 400 千円
当初予算額	6,550 千円
決算額	4,766 千円 (不要額 1,784 千円)
事業の実績	市民納涼花火大会 開催日：8月15日 観客数：100,000人 鳥取三十二万石お城まつり 台風により中止。 青い鳥コンサート 開催日：7月21、28日 観客数：5,500人 因幡和太鼓の祭典 開催日：8月5日 観客数：530人
事業の効果	本市の魅力あふれる地域の伝統文化や歴史に因んだイベントを開催することで、交流人口の拡大に寄与した。
今後の見通し	各イベントが歴史あるイベントであり、本市のイベントとして定着していることから、継続的に支援していくことが必要である。



市民納涼花火大会

因幡和太鼓の祭典

(1) 事業収支決算書の記載の明確化について【指摘事項】

因幡和太鼓の祭典事業補助金交付要綱では、「本補助金は、補助対象事業に要する経費の総額から補助対象経費に係る本補助金以外の収入の額を控除した額に5分の4を乗じて得た額（1,000円未満の端数は切り捨てる。）以内で算定し、予算の範囲内で交付する。ただし、40万円を上限とする。」と記載されている。

本補助金以外の収入として、因幡和太鼓の祭典の入場料収入があるが、補助金交付先から提出された事業収支決算書では、収入の部の自己資金の中に入場料収入が含まれており、入場料収入の金額が分からず、事業収支決算書上で、補助金額を算定することができない。

実績報告書に記載されている入場券販売結果から入場料収入を396,000円（1,000円×396枚）と仮定し、補助金額を算定すると、
 （補助対象経費 798,624円－入場料収入 396,000円）×4/5＝322,000円
 となるが、今回の監査の過程で、改めて担当課が補助金交付先に経費内容を確認したところ、事業収支決算書に上がっていない支出約15万円が別途確認され、その確認された経費を補助対象経費に含めると、補助金額に変更はないとのことであった。

今後は、補助金交付先から明確な事業収支決算書を提出してもらい、補助金額の算定を行う必要がある。

(2) 補助金交付要綱の記載の明確化について【意見】

市民納涼花火大会事業補助金交付要綱では、「本補助金は、会場設営費及び大会運営費（協賛金、負担金等の特定財源を除く。）に10分の10を乗じて得た額及び安全管理費に2分の1を乗じて得た額（1,000円未満の端数は切り捨てた額とする。）以内で算定し、予算の範囲内で交付する。」と記載されている。

補助金交付先から提出された決算書から、補助金額を算定すると、
（会場設営費 13,733,755 円＋会場運営費 1,550,000 円－しゃんしゃん祭振興会 500,000 円－商社協賛金 13,950,960 円） $\times 10/10$ ＋安全管理費 2,148,700 円 $\times 1/2 = 1,907,145$ 円となるが、商社協賛金などの事業収入は優先的に決算書に記載の補助対象外経費に充当し、補助金額の算定を行っているとのことであった。

補助金交付要綱では、商社協賛金などの事業収入を補助対象経費に優先的に充当することが明確にされていないため、そのような取扱いを明確にする必要がある。

21 因幡地域周遊バス運行支援助成費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	麒麟のまち観光局が実施する「因幡地域周遊バス」の経費を支援する。
事業目的	県東部地域の二次交通対策として個人観光客を対象にツアーバスを運行し、誘客促進を図る。運行にあたっては、鳥取空港・鳥取駅、智頭急行との連結や、三朝温泉などの県中部地域との連携を図り、県内広域周遊観光を促進する。
事業費の内訳	事業負担金 2,364 千円
当初予算額	2,364 千円
決算額	2,364 千円（うち地方創生推進交付金 500 千円）
事業の実績	<p>運行期間：平成 30 年 5 月 12 日 ～ 平成 31 年 3 月 23 日</p> <p>運行回数：33 回</p> <p>コース：鳥取一岩美、鳥取一智頭、鳥取西エリアの 3 コース</p> <p>利用者数：283 人 （岩美コース 133 人、智頭コース 103 人、鳥取西コース 47 人）</p>
事業の効果	県東部地域を周遊観光するツアーバスの運行により、個人旅行客の誘客を促進した。また、県外旅行会社が「因幡地域周遊バス」を活用した観光商品の造成に寄与した。
今後の見通し	<p>県東部地域の周遊観光における二次交通対策として継続実施が必要。</p> <p>県東部地域における鳥取砂丘などを含む定番コースを継続した上で、魅力ある新規コースを設定し、さらなる誘客促進を図る。</p>



「因幡地域周遊バス」ツアーのチラシ

(1) 誘客促進のためのPRについて【意見】

当該事業の実績は、運行回数 33 回で、利用者数は 283 人であることから、1 回当たりの平均利用者数は約 9 人と少ない。

より効果的な事業とするため、鳥取県東部・中部の宿泊施設や観光施設と連携したPRを行うなどし、誘客促進を図る必要がある。

22 広域観光開拓・推進事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	鳥取東部・兵庫北但西部地域1市6町が連携し、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の運営、活動を支援する。
事業目的	(一社)麒麟のまち観光局への活動支援や各自治体との連携による広域周遊観光圏の形成を通じて、圏域への観光誘客と周遊促進を図る。
事業費の内訳	麒麟のまち観光局運営・事業負担金 42,500千円
当初予算額	42,500千円
決算額	42,500千円(うち地方創生推進交付金21,200千円)
事業の実績	<p>麒麟のまち観光局への負担金の拠出。</p> <p>【麒麟のまち観光局事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドコンセプトとロゴデザインの制定。 ・圏域に来訪する観光客の動態分析調査を実施。 ・ANA総研と連携し、航空機を利用した訪日外国人向け着地型商品を造成。造成した商品の現地手配、プロモーションを目的としたFAMツアーを実施。 ・台湾チャーター便を活用し、現地旅行会社へのセールスコールを実施。 ・麒麟獅子舞の日本遺産登録に向けた協議会設置準備。 ・関西圏観光専門学校の旅行商品造成研修誘致。 ・ARを活用した最先端観光コンテンツ実証の実施。 ・英語版観光サイトの制作。
事業の効果	(一社)麒麟のまち観光局は平成30年4月より事業開始し、各自治体や圏域内外の事業者との連携を深め、麒麟のまち観光圏域のブランディングにより、観光周遊圏域の形成を進めている。また、商品造成やコンテンツ実証を通じて、圏域外からの観光誘客に寄与している。
今後の見通し	麒麟のまち観光圏域に来訪する観光客の動態分析調査を実施し、圏域へのさらなる観光誘客と周遊促進を図る。また、外国人観光客をターゲットとした誘客事業を実施。



麒麟のまちの1市6町のロゴデザイン

(1) 各市町間の負担割合の検討について【意見】

市町別の運営負担金・事業費負担金において、鳥取市の広域観光開拓・推進事業の主な支出は、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の運営費負担金(会費)25,000千円とDMOスタートアップの事業負担金12,000千円であり、その負担割合は約8割となっている。市の支出金額及び負担割合が多いため、今後は支出金額や負担割合の見直しも検討していただきたい。

23 観光産業育成支援事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	観光事業者等が行う観光施設の改修や観光誘客・広報宣伝などの取組みに対して支援を行う。
事業目的	観光産業を本市の基幹産業として振興するためには官民一体となった取組みが必要。民間事業者等が行う積極的な取組みに対し支援を行うことで、本市の観光産業育成及び観光振興を図る。
事業費の内訳	観光産業育成支援事業補助金 2,297 千円
当初予算額	3,000 千円
決算額	2,297 千円
事業の実績	<p>補助金交付件数 10 件（交付額 2,297 千円） （内訳）</p> <p>快適観光施設改修事業 1 件（交付額 153 千円 補助率 1/2）</p> <p>おもてなし向上事業 1 件（交付額 200 千円 補助率 2/3）</p> <p>外国人観光客誘客促進事業 2 件（交付額 189 千円 補助率 1/2）</p> <p>観光商品開発・販路開拓事業 2 件（交付額 400 千円 補助率 2/3）</p> <p>観光客誘客イベント事業 4 件（交付額 1,355 千円 補助率 2/3）</p>
事業の効果	本補助金の交付により、新たな観光資源となりうる商品開発や、また近年増加傾向にある外国人観光客に対応するための多言語パンフレット作成などへの支援を通じ、観光産業育成に寄与した。
今後の見通し	観光事業者等の取組みへの支援であり、本市の観光産業の発展基礎を確保するためにも継続実施が必要。

(1) 補助対象経費の範囲について【指摘事項】

外国人観光客誘客促進事業の1件について、事業収支決算書の支出の部の借上料に計上されている店舗貸し切り代 30,000 円は、事業収支決算書に添付されている領収書を見ると、補助対象事業者本人が発行している領収書である。

市の担当課からの説明では、当該補助事業は、補助対象事業者が営業を臨時休業し実施された事業であったため、自社調達観点から、当日の増員スタッフの人件費等も考慮し、事業者の経費として店舗借上料を補助対象経費として認めていたものである。補助対象事業者本人が発行した領収書は、実際に借上料として支出が行われたものではない。そのため、領収書の金額に客観性がなく、このような経費を補助対象経費として取り扱うと補助対象経費の金額を恣意的に決めることができてしまう。

今後は、補助対象事業者本人が発行した領収書については、補助対象経費に含めない取扱いにする必要がある。

24 「砂像のまち鳥取」推進事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	「学生限定砂像グランプリ in 鳥取」を開催し、砂像彫刻家の発掘や、砂像制作を通じた関係者との交流による相互情報発信及び情報共有を行う。また、砂の美術館との事業の相乗効果を図りながら、発信力のある砂像の制作・展示を実施し、「砂像のまち鳥取」への積極的な誘客を図る。
事業目的	鳥取市の新たな観光ブランドとなった「砂像」を広くアピールし、砂像文化を市民とともに育み醸成するとともに、「砂像のまち鳥取」を全国、全世界に発信する。
事業費の内訳	<p>「砂像のまち鳥取」推進事業費</p> <p>報償費 752 千円 学生限定砂像グランプリ賞金、看護師謝礼ほか</p> <p>旅費 654 千円 砂のルネッサンス砂像制作協議ほか</p> <p>需用費 1,053 千円 砂像グランプリ選手募集チラシ印刷、砂像制作用消耗品ほか</p> <p>役務費 648 千円 砂のルネッサンス広告業務、砂のルネッサンスラジオ CM 業務ほか</p> <p>委託料 12,283 千円 砂像基盤制作業務、砂のルネッサンス運營業務、砂像制作業務ほか</p> <p>使用料及び賃借料 219 千円 鳥取駅砂丘センター送迎バス借上げほか</p> <p>負担金、補助金及び交付金 595 千円 砂のルネッサンス参加旅費等補助金</p>
当初予算額	20,299 千円
決算額	16,204 千円 (2月補正 4,003 千円減) (うち地方創生推進交付金 7,237 千円)
事業の実績	鳥取砂のルネッサンス 2018 の開催 開催期間：平成 30 年 9 月 15 日(土)～9 月 17 日(月・祝)

	<p>会 場：鳥取砂丘砂の美術館展望駐車場 入場者数：27,100人 内 容：</p> <p>①学生限定砂像グランプリ in 鳥取 国内外の大学生全6チームによる砂像コンテスト （銘傳大学(台湾)、広島市立大学、鳥取環境大学、 倉敷芸術科学大学、四天王寺大学(2チーム)）</p> <p>②中学生砂像選手権 地元の中学生全3チームによる砂像コンテスト （鳥取南中学校・鳥取東中学校、中ノ郷中学校、高 草中学校）</p> <p>③エキシビジョン砂像 日本各地の砂像連盟4チームによる公開砂像制作(高 知県黒潮町砂像連盟、日本砂像連盟加世田本部、尾張 砂像連盟、アトリエ向日葵)</p> <p>④巨大すなば 砂像体験や砂のワークショップ</p>
<p>事業の効果</p>	<p>大学生を対象とした砂像グランプリや地元中学生による砂像選手権を行うことで、特に若い世代に対して砂像文化の醸成や砂の魅力について伝えることができた。国内外からの参加があり、それぞれ地域の枠を超えて砂像を通じた交流を図ることができた。開催地を鳥取砂丘地域にしたことで、市民のみならず観光で訪れた国内外の人に向けても広く「砂像のまち鳥取」のPRを行うことができた。</p>
<p>今後の見通し</p>	<p>全国の砂像関係者と交流を深めながら、市民への砂像文化の拡大推進を図るとともに、新たな砂像彫刻家の発掘を目的とした特に若い世代の砂像文化醸成や、小さな子どもたちに向けても砂遊びなど砂に触れることで砂の魅力やおもしろさに気づいてもらえるような事業を目指す。</p>



鳥取砂のルネッサンス 2018

学生限定砂像グランプリ in 鳥取

(1) 砂像彫刻家の育成について【意見】

「砂像のまち鳥取」推進事業は、「砂のルネッサンス 2018」の広報、砂像制作、運營業務等をはじめ、「学生限定砂像グランプリ in 鳥取」や「中学生砂像選手権」等を開催し、市民に砂像文化を知ってもらおう事業である。

この事業で特に若い世代に砂像彫刻を体験してもらい、砂像関係者との交流を通して広く砂像彫刻の魅力を知ってもらうことで、将来の砂像彫刻家の担い手の育成を図り、砂像制作費用や期間の効率化に向けて取り組んでいただきたい。

25 鳥取砂丘新発見伝事業負担金

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	鳥取砂丘の新たな魅力や楽しみ方を発信するため、鳥取砂丘再生会議がイベントを公募し、採択した案件については、砂丘内での実施手続きのサポートや広報の実施、経費の負担を行う。
事業目的	鳥取砂丘における民間主導のイベント開催を支援することにより、県・市及び民間が一体となって砂丘観光の活性化を図る。
事業費の内訳	鳥取砂丘新発見伝事業負担金 7,425 千円 ・鳥取県負担金 7,425 千円、鳥取市負担金 7,425 千円 (1) 実施団体の育成 14,221 千円 (砂丘活性化事業の公募・審査・支援) (2) 直接事業 629 千円 (ホームページ運営、広報宣伝)
当初予算額	10,000 千円
決算額	7,425 千円 (うち ふるさと納税基金繰入金 7,425 千円) (不用額 2,575 千円)
事業の実績	鳥取砂丘新発見伝事業は、1 イベントにつき 3 年間までの支援となっており、平成 30 年度は 10 イベントを実施した。 【新発見伝イベント】 ・ストライダーエンジョイカップ 5,002 千円 ・小鳥の家族 1,000 千円 ・すなばドッジフェスティバル 897 千円 ・大人の遠足 1,001 千円 ・多鯨ヶ池いかだレース 995 千円 ・ビーチサッカー 1,813 千円 ・砂像コンテスト 1,433 千円 ・ちびっこレンジャー 336 千円 ・ドローンVR体験 1,001 千円 ・トライアスロン (台風により中止)
事業の効果	鳥取砂丘における民間主導のイベント開催を支援することにより、県内外の観光客に広く認知され、砂丘の新たな魅力発信・活性化につながった。

<p>今後の見通し</p>	<p>鳥取砂丘の新たな魅力を発信する体験プログラムやイベントを審査し、採択された事業を支援する鳥取砂丘新発見伝事業は、平成31年度は新規採択を行わず、9イベントの継続支援を行う予定である。今後は支援の対象を政策的な視点で整理し、新たな支援制度を立ち上げて支援していく予定である。</p>
---------------	---



ストライダーエンジョイカップ



ビーチサッカー



すなばドッジフェスティバル

鳥取砂丘新発見伝
小鳥の家族×鳥取砂丘
 星空ノスタルジック

家族で眺める清天の星空
 なにもない透明な時間
 すべてがある自然と空間
 砂上は懐く夢と未来

開催日 2019年 7月28日・29日 8月4日・5日 ※19時～20時30分	開催地 鳥取砂丘 こどもの国キャンプ場 鳥取県鳥取市	参加定員 ※ ご家族10組 ※ご家族参加無料 ※要予約
---	-------------------------------------	---

申し込み要
 申し込みフォームよりお申し込みください
<http://www.kometsukaoka.com/jp>
 2019年7月28日(土)～8月5日(日)

申込価格
 家族1組につき2,000円＋大人1人につき500円

主催
 鳥取砂丘新発見伝実行委員会

協賛
 山陰海岸リゾート

小鳥の家族

(1) 積極的な広報について【意見】

当該負担金は、砂丘の魅力を発信するために、新しい発想のイベントを企画、実施する団体を1イベントにつき3年間まで支援する補助金制度である。平成30年度に採択された事業の中には、イベントへの参加人数が少なかった事業も見受けられる。このような状況から費用対効果は低く、また経済性にも欠ける事業であったことがうかがえる。今後は、より経済効果が見込まれるイベントとなるように、砂丘の魅力をより多くの人に発信し、参加者が増えるような広報活動が望まれる。

26 砂の美術館管理運営費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	<p>世界で唯一、砂像を専門に展示する屋内施設「砂の美術館」の管理運営を行い、鳥取市への観光誘客を図る。</p> <p>指定管理者：鳥取砂丘砂の美術館活性化共同企業体（JV）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)イズミテクノ ・日本ユニシス(株) ・(株)JR 西日本コミュニケーションズ中国支店 <p>指定管理期間：平成30年1月15日～令和5年1月14日</p>
事業目的	指定管理者制度導入で、管理経費の縮減と民間知識活用によるサービスの向上を図るとともに、地域産業発展と観光の振興を目指す。
事業費の内訳	<p>砂の美術館管理運営費 37,623 千円</p> <p>(1) 旅費</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 普通旅費 2 千円 【当初】なし【2月補正】2 千円増 <p>(2) 需用費 5,079 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 消耗品費 7 千円 【当初】なし【2月補正】7 千円増 ② 施設修繕費 2,534 千円 【当初】なし【12月補正】2,534 千円増 ③ 物品修繕費 2,538 千円 【当初】なし【2月補正】2,538 千円増 <p>(3) 役務費 90 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 手数料 90 千円 【当初】なし【2月補正】90 千円増 <p>(4) 委託料 30,118 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事務・事業等委託費 30,118 千円 【当初】30,000 千円【2月補正】118 千円増 <p>(5) 使用料及び賃借料 2,094 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 土地借上料 2,094 千円 【当初】2,094 千円 <p>(6) 備品購入費 240 千円</p>

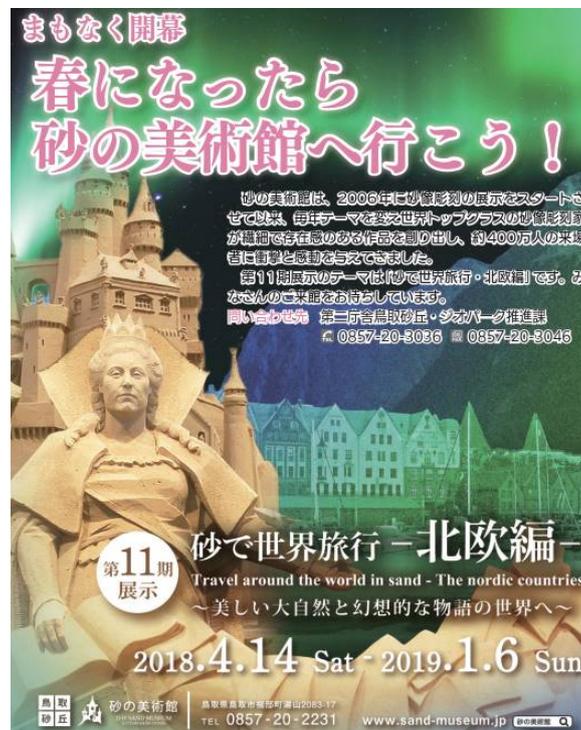
	<p>① 庁用器具費 240 千円</p> <p>【当初】なし【6月補正】239 千円増、【2月補正】1 千円増</p>
当初予算額	32,094 千円
決算額	<p>37,623 千円</p> <p>【6月補正】239 千円増【12月補正】2,534 千円増【2月補正】2,756 千円増</p>
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30 年度入館者数：448 千人（前年度比 110%） ・ 指定管理者：鳥取砂丘砂の美術館活性化共同企業体（㈱イズミテクノ、日本ユニシス㈱中国支店、㈱JR 西日本コミュニケーションズの 3 者による共同企業体） ・ イベント等：① 北欧編サマーフェス ② 3D プロジェクションマッピング ③ 第 12 期南アジア編展示準備 ・ 砂の美術館管理運営費 37,623 千円 (1) 旅費 2 千円（第 12 期展示スポンサー依頼） (2) 需用費 5,079 千円（照明修繕、排煙窓修繕ほか） (3) 役務費 90 千円（商標登録手数料） (4) 委託料 30,118 千円（総合プロデューサー業務ほか） (5) 使用料及び賃借料 2,094 千円（展望駐車場土地借上料） (6) 備品購入費 240 千円（売店システムパソコン）
事業の効果	<p>第 11 期展示入館者目標の 50 万人には届かず、448,802 人であったが、7 月豪雨や台風の影響があったにもかかわらず、前年度比 110% の実績となった。</p> <p>平成 30 年 1 月に代わった新たな指定管理者のノウハウを用いた市場分析をもとに、多様な企画による事業展開や広域での広報発信などを行うなど、高い専門性を発揮した運営が行われている。</p>
今後の見通し	<p>指定管理者による高い企画力とより良いサービスを追求し、利用者数の拡大及び観光振興を図り、鳥取市の観光誘客を担う施設として引き続き安定的な運営を行う。</p>



砂の美術館入り口



常設展示砂像（第11期）



砂の美術館第11期展示

(1) 委託料内訳の明確化について【意見】

砂の美術館総合プロデュース業務については、美術館の総合プロデューサーと業務委託契約を締結し、委託料 30,118 千円を支払っているが、契約前に徴収している見積書の見積積算内訳は、それぞれの業務の数量がすべて「一式」となっており、見積金額に対して積算内訳がおおまかな記載になっている。現状の委託料は、いわゆる渡し切りのような扱いになっているが、委託料の金額が少ないとは言えない状況の中で、説明責任という観点からは、委託料の積算内訳が明確に分かるような見積書を徴収する必要がある。

(2) 砂像制作の後継者育成について【意見】

鳥取市の地元の若者に砂像制作の技術を指導し、将来的には鳥取市で独自に砂像制作ができるように後継者を育成すべきである。地元の後継者を育成することにより、予算や時間の経済効率化が図られる。

27 砂丘管理事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	砂丘及び周辺の景観保全、維持管理、ゴミ処理 ゴールデンウィーク時における砂丘周辺の渋滞対策
事業目的	鳥取砂丘周辺を訪れる観光客の受入れ環境を整備し、適切に管理することを目的とする。
事業費の内訳	湯山生活環境保全林草刈り謝金 100 千円 鳥取砂丘渋滞対策駐車場修繕等 1,796 千円 DM便ほか郵送料 99 千円 鳥取砂丘漂着物回収、鳥取砂丘周辺道路渋滞対策業務等 16,385 千円 鳥取砂丘駐車場土地借上料 1,295 千円 鳥取砂丘再生会議負担金等 11,418 千円
当初予算額	37,014 千円
決算額	31,093 千円（うち 市町村事務移譲費県交付金 477 千円、海岸漂着物処理事業県補助金 811 千円、自然公園財団事務所地代 100 千円、砂丘周辺渋滞対策緩和に関する県負担金 4,016 千円）
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・砂丘海岸の漂着ゴミ処理 ・鳥取砂丘及び周辺の景観保全・維持管理 ・GW等の渋滞対策 ・砂丘周辺施設の維持管理
事業の効果	鳥取砂丘未来会議を中心とした保護保全や利活用に、本市も積極的に関わり、除草ボランティアへの積極的な参加を呼びかけながら、国立公園の維持管理に努めた。
今後の見通し	国、県や各種団体と連携を進め、経費ならびに人的コストの軽減を図りつつ、鳥取砂丘周辺の保護保全、観光客誘客につながるサービスの向上を目指す。



砂丘海岸の漂着ゴミ処理

(1) 業者の選定について【意見】

砂丘管理事業における4つの業務が、随意契約により同一の業者と契約が行われている。

随意契約運用基準の留意事項には「業者選定に当たっては、特定の業者に偏らないようにすること」と記載があり、特定の業者に偏らないように選定を行うべきである。

28 鳥取砂丘イリュージョン開催補助金

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	鳥取砂丘イリュージョンは、平成12年から開催され、平成16年からは鳥取砂丘再生会議が引き継いだ「鳥取砂丘新発見伝」の補助を受けてイベントが開催されてきた。平成26年からは、単独の補助金として鳥取砂丘イリュージョン実行委員会に対し、鳥取県と鳥取市がイベント開催費を補助している。
事業目的	冬の鳥取砂丘の観光資源として、鳥取砂丘周辺の活性化を図る。
事業費の内訳	鳥取砂丘イリュージョン開催補助金 7,500千円
当初予算額	7,500千円
決算額	7,500千円(うちふるさと納税基金繰入金7,500千円)
事業の実績	<p>鳥取砂丘イリュージョン開催補助金 7,500千円(補助率10/10)</p> <p>全体事業費：18,850千円</p> <p>開催期間：平成31年12月8日(土)～12月24日(月・祝)</p> <p>17:30～21:00</p> <p>期間中の来場者数：100,504名</p> <p>【内容】砂の美術館「砂で世界旅行・北欧編」と連携したテーマ「ファンタジーランド」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電球40万球 ・オープニングセレモニー ・来場者体験型イベント(クイズラリー、フォトコンテスト、リース作り体験) ・ステージイベント(郷土芸能、ダンス等) ・フードコート(11店舗出店)
事業の効果	本補助金の交付により、閑散期となる冬の鳥取砂丘への誘客につながった。
今後の見通し	観光団体・市民からも開催を要望されているイベントであり、冬の鳥取砂丘の誘客促進のため、今後も継続実施が必要。



鳥取砂丘イルミネーション 2018

(1) 誘客促進のための取組みについて【意見】

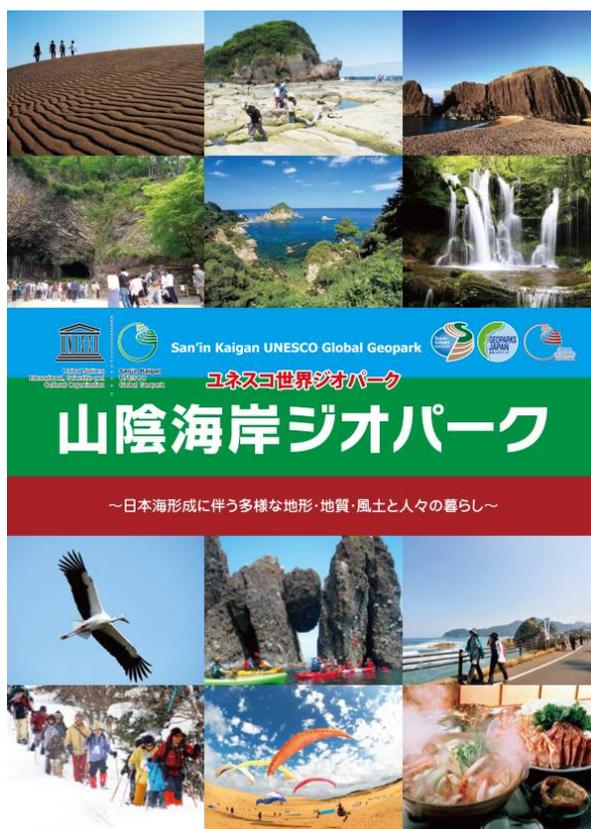
冬の鳥取砂丘の一大イベントであり、楽しみにしている観光客も多い。冬の閑散期の時期だが、来場者数も10万人を超え、経済効果も大いに見込まれる。

今後も砂の美術館や、カニなどの飲食を伴う宿泊施設等と連携し、さらなる誘客促進のための取組みを続ける必要がある。

29 山陰海岸ジオパーク事業費

所管課	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
事業内容	山陰海岸ジオパークの普及・啓発を図る。
事業目的	鳥取砂丘、白兔海岸などのジオサイトに訪れていただき、貴重な地質遺産とそれらがもたらす多彩な自然を背景にした文化や歴史に見て触れて楽しみながら、教育、観光振興、産業振興などに活かし地域の活性化を図る。
事業費の内訳	<p>山陰海岸ジオパーク事業費 23,666 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 1,639 千円 (2月補正2千円減) <p>専門職員配置 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共済費 243 千円 <p>専門職員配置 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 70 千円 <p>講師謝金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 232 千円 <p>全国大会参加旅費等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 2,242 千円 <p>パンフレット印刷等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役務費 109 千円 <p>広告費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 9,173 千円 (2月補正50千円減) <p>ジオツーリズム委託事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料及び賃借料 4,365 千円(2月補正315千円減) <p>小学校校外学習バス借上げ料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担金、補助金及び交付金 5,593 千円 <p>山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金等</p>
当初予算額	27,280 千円
決算額	23,666 千円(うち 県山陰海岸ジオパーク魅力活用総合補助金 4,360 千円、ふるさと納税基金繰入金 12,283 千円)
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・世界ジオパークネットワーク (GGN) 再認定 ・山陰海岸ジオパーク魅力活用総合補助金 11 件 ・ガイド交流会実施 2 回 延べ 38 人参加 ・鳥取市ジオガイド養成講座 4 回 延べ 58 人参加

	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパーク校外学習支援事業 市内 40 校 延べ 2,826 人 ・ジオウォークの実施 1 回 延べ 430 人参加
事業の効果	ガイドの交流や研修を行うことで、学術的な知識を深めたり、ガイドスキルの向上を図った。また、世界ジオパークネットワーク (GGN) の再審査で再認定された。
今後の見通し	世界ジオパークネットワーク (GGN) の再認定に伴い、審査員から提案された内容については山陰海岸ジオパーク推進協議会と共に改善に努めているところである。これを踏まえ、来年度は推進協議会、府県市町、地元住民等とジオパーク推進に向けた取組みを強化していきたい。



山陰海岸ジオパークのパンフレット

ジオパークって？

- ・科学的にみて特別に重要で貴重な、あるいは美しい地球活動遺産を複数含む自然公園のひとつです。
- ・貴重な地質遺産を教育、観光、産業などに活用することによる地域の活性化を目的としています。

ヨーロッパの各国、中国、日本など世界各地のジオパークが加盟する世界ジオパークネットワーク (GGN: Global Geoparks Network) は、2004年にユネスコの実験により設立されました。山陰海岸ジオパークは2010年10月にGGNに加盟認定、2014年9月にはエリアを拡大して再認定されました。2015年、世界ジオパークはユネスコの正式事業となりました。

山陰海岸ジオパーク

テーマ:日本海形成に伴う多様な地形・地質・風土と人々の暮らし

山陰海岸ジオパークには、日本列島がアジア大陸の一部だった頃から日本海が形成され、現在に至るまでの多様な地質や地形が存在しています。そして、それらがもたらす多彩な自然を背景にした人々の文化や歴史があります。

山陰海岸ジオパークの拠点施設

*山陰海岸ジオパークや周辺のジオサイトの情報や資料を掲載することができます。
*地域団体が施設を拠点にジオパーク活動を行っています。

- A 道の駅てんきてんき丹後**
立寄りのまち並みの駅。山陰海岸ジオパーク(宮丹後)情報センターを設置。
- B 玄武洞公園案内所**
玄武洞の入り口や玄武岩について資料を展示。
- C 香美町立ジオパークと海の文化館**
香美町の魅力と日本海の歴史を学びながら生きてきた人々の文化を紹介。
- D 新温泉町山陰海岸ジオパーク館**
山陰エリアの岩石の展示や各種体験学習を実施。
- E 山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館**
山陰海岸ジオパークの自然についての展示施設。
- F 岩美町立渚交流館**
シーカヤック、シュノーケル等の自然体験施設。
- G 鳥取砂丘ジオパークセンター**
海岸砂丘の語り立ち、鳥取(砂丘)の歴史、砂の風が作り出す現象を展示。
- H あおや郷土館**
歴史、文化等の企業展や、催し、展示情報、地元農産物の魅力を紹介。



ジオパークガイドの養成



ジオパーク校外学習

(1) 事業収支決算書の記載の明確化について【指摘事項】

平成 30 年度鳥取市山陰海岸ジオパーク魅力活用総合補助金の交付要綱では、「事業の実施に伴い、参加費、協賛金、その他の収益が発生した場合は、補助対象経費から当該収入相当額を控除した額を補助対象経費とする。」と記載されている。

補助対象事業者が鳥取砂のルネッサンス実行委員会の事業収支決算書の収入の部に自己資金の記載があり、摘要欄には協賛金と記載されているが、自己資金のうちの協賛金の金額が明らかになっておらず、事業収支決算書上で補助対象経費が把握できず、補助金額を算定することができない。

今回の監査の過程で、改めて担当課が補助対象事業者に自己資金に含まれている協賛金の金額を確認したところ、協賛金の金額を控除した補助対象経費をもとに補助金額を算定しても補助限度額を上回っており、結果的には、補助金額に変更は生じなかったとのことであった。

協賛金等の収益が発生した場合に当該収入相当額を補助対象経費から控除する場合には、補助対象事業者から収入として控除する金額が明確な事業収支決算書を提出してもらい、補助金額の算定を行う必要がある。

第2 指摘事項及び意見の件数

包括外部監査の指摘事項及び意見の件数は、次のとおりである。

番号	担当部・課	項目名	指摘事項	意見
1	企画推進部政策企画課	シティセールス推進事業費	—	—
2	〃	若者定住促進事業費	—	1
3	〃	麒麟のまち創生推進事業費	—	1
4	企画推進部秘書課広報室	鳥取市知名度アップ大作戦事業費	—	—
5	企画推進部文化交流課	日本遺産登録推進事業費	—	1
6	〃	麒麟獅子舞圏域活性化事業費	—	1
7	市民生活部地域振興課	人材誘致・定住促進対策事業費	—	1
8-1	経済観光部経済・雇用戦略課	地域商社運営支援事業費	1	—
8-2	〃	シティセールス推進事業費 (地方創生推進交付金活用事業)	—	1
9	経済観光部企業立地・支援課	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費	—	1
10	経済観光部観光・ジオパーク推進課	観光活動事業費	—	—
11	〃	観光ボランティア活性化事業費	—	—
12	〃	「恋人の聖地/白兔海岸」推進事業費	—	1
13	〃	知名度アップイベント推進事業費	—	—
14	〃	宣伝推進事業費	—	1
15	〃	国際観光推進事業費	—	—
16	〃	観光協会等補助金	—	—
17	〃	しゃんしゃん祭振興会補助金	—	—
18	〃	コンベンション誘致支援事業費	—	—
19	〃	ループバス運営支援助成費	—	2
20	〃	観光イベント開催補助金	1	1
21	〃	因幡地域周遊バス運行支援助成費	—	1
22	〃	広域観光開拓・推進事業費	—	1
23	〃	観光産業育成支援事業費	1	—
24	〃	「砂像のまち鳥取」推進事業費	—	1
25	〃	鳥取砂丘新発見伝事業負担金	—	1
26	〃	砂の美術館管理運営費	—	2
27	〃	砂丘管理事業費	—	1
28	〃	鳥取砂丘イリュージョン開催補助金	—	1
29	〃	山陰海岸ジオパーク事業費	1	—
		計	4	20

第4章 おわりに

半世紀前のことである。憧れて東京で大学時代を過ごした私にとって、東京の大人たちが、あまり幸せに見えなかった。一度鳥取を離れたからこそ鳥取の良さや親のありがたみを改めて感じ、ふるさと鳥取のために少しでも貢献できたらいいなと思い、鳥取で起業できる職業を探し資格を取り、Uターンをした。若い人が一度は憧れて都会へ進学や就職するのは理解できるが、今は都会が景気が良く就職先も多いが、いつまでも好景気が続くとは限りません。自分の人生をもう少し長い目でとらえ、何が幸せかを考えてほしい。是非とも若い人が鳥取で就職や起業をし、ふるさとを盛り上げてくれることを期待します。

鳥取には麒麟獅子舞がある。我々は子供のころ、お祭りのとき親に“頭が良くなる”と言われて、頭を差し出され麒麟獅子に噛んで貰った。頭は良くならなかったが、怖かった。特にあやし役の「猩々」が不気味でさらに怖かったのをよく覚えている。人々に幸福をもたらすという麒麟獅子舞は麒麟のまち圏域しかないものであり、住民がこの文化を伝承することによって地域が幸福になり、長い目でみれば若者定住や観光振興につながると思われる。

また、住みたい田舎ベストランキングで1位になったと耳にしたとき、思わず「本当かいな！」と思ったが、監査を進める中で、担当する人のきめ細かい誠実な対応をお聞きし、なるほど！と理解できました。

私は、鳥取市で税理士を開業して41年になりますが、その間納税者である市民の皆様から税務相談等を通じて、納税はもちろん、税の使われ方に関しても、それぞれの考えを受け止めさせて頂いたつもりです。

従って、この度の監査でも、その経験を生かして、市民目線を意識し、民間のコスト意識や通常の経済取引等を参考にしながら、取り組みました。

私も補助者のお二人も偶然ですが、鳥取青年会議所のOBである。青年時代にワクワクするまちづくりに取り組んだ経験が今年度のテーマの選択や監査には大変役立っている。ふるさと鳥取市を愛し、誇りに思っている三人であります。このような三人がチームワークを大切にし、自分たちのふるさと鳥取市が100年先も素晴らしい地域として発展するよう、また鳥取市民の皆様のために少しでもお役に立てるよう心から願って監査を致しました。

この2年間、縁あって鳥取市の包括外部監査人を担当させて頂きましたが、この間、監査委員事務局をはじめとする市職員の皆様には大変お忙しいなか、協力して頂き心から感謝申し上げます。

なお、私たちの包括外部監査が少しでも鳥取市の発展に寄与できるならば、望外の喜びであります。本当にありがとうございました。